

消防年報



平成21年(2009)版



平成21年度中国・四国ブロック
緊急消防援助隊合同訓練

島根県
出雲市消防本部

平成22年(2010)発刊

【表紙説明】

平成21年度 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練

この訓練は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を効果的かつ充実したものとするために全国の消防機関相互による迅速な援助体制として平成7年6月に緊急消防援助隊が発足し、毎年1回各ブロックで合同訓練を実施しています。

平成21年度は、出雲市を震源とする震度6強の地震が発生したと想定し、東京消防庁、北九州市消防局をはじめ中国・四国ブロックの9県55消防本部から消防隊107隊、防災ヘリコプター8機、協力機関として陸上自衛隊出雲駐屯地、DMAT（災害派遣医療チーム）7チーム、島根県警察本部、（社）日本自動車連盟、消防団等から約600名が参加して10月15日・16日の2日間、出雲市斐伊川河川敷公園及び出雲ドームを主会場におこなわれました。

はしがき

この年報は、当消防本部の消防現勢及び消防行政に関する諸般の事項を集録し、その実態を広く紹介するとともに、将来の消防行政の推進に資するため編集したものです。

なお、内容については、主に平成22年4月1日現在をもって収録してあり、一部これによらないものについては、当該各表にそれぞれの年月日を記載しています。

平成22年(2010)8月

出雲市消防本部

目 次

管内情勢

位置と地勢、位置図、管内図、面積・人口及び世帯数	1
消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）	2
出雲市外4町広域消防組合の沿革	3
平田市消防本部の沿革	7
大社町消防本部の沿革	9
出雲市消防本部の沿革	11
消防本部・署配置図	12

総務編

消防本部の組織及び機構	15
消防署の組織及び機構	16
部隊の編成	17
平成21年（2009）中の主な行事	18
平成22年度（2010）出雲市消防本部当初予算	19
職員の配置	21
消防吏員の年齢・勤務年数	22
消防吏員の資格免許取得状況	23
消防相互応援協定状況	24
広報実施状況	24
消防音楽隊の概況	25

予 防 編

防火クラブの現況	27
防火対象物数	29
一般予防関係事務処理件数	30
中高層建物の状況	31
危険物製造所等施設数	31
貯蔵取扱数量別危険物施設数	32
危険物関係事務処理件数	32
火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数	33

警 防 編

火災の概要	35
建物用途別損害状況	37
曜日別・時間別火災発生状況	37
出火原因別火災件数・損害額	38
過去5年間の火災発生状況及び火災損害額	38
救急の概要	39
傷病者年齢区分別搬送人員	41
傷病程度別搬送人員	41
救急隊員の行った応急処置件数	42
救急隊員生涯教育実施状況	43

応急手当普及啓発活動状況	43
救助の概要	44
消防車両の配備	45
特殊器具一覧表	46
消防車両の装備	47
【消防本部・出雲消防署本署】	47
【出雲消防署佐田分署】	47
【出雲西消防署本署】	48
【出雲西消防署多伎分署】	48
【平田消防署】	48
【大社消防署】	49
【斐川消防署】	49
消防水利施設数	50

指令編

消防通信施設状況	53
覚知方法・内容別受信状況	55
過去5年間における実災害119番受信状況の推移	55
消防テレホンガイド利用状況	56
119番受信時の口頭指導実施状況	56
気温、湿度	57
降雨量、風向・風速、気象警報等発令状況	58

消 防 団

出雲市消防団 組織図	61
階級別団員数、報酬（年額）、諸手当	62
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況	62
団員の職業別	62
斐川町消防団 組織図（消防事務受託先）	63
階級別団員数、報酬（年額）、諸手当	63
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況、職業別	64

出 雲 救 難 所

組織図	67
救難所員の定数及び実員	68
救難所器具保有状況	68
6ヶ年の災害等出動状況	69
救難所員勤続年数、年齢	69

出雲市の概要

位置図



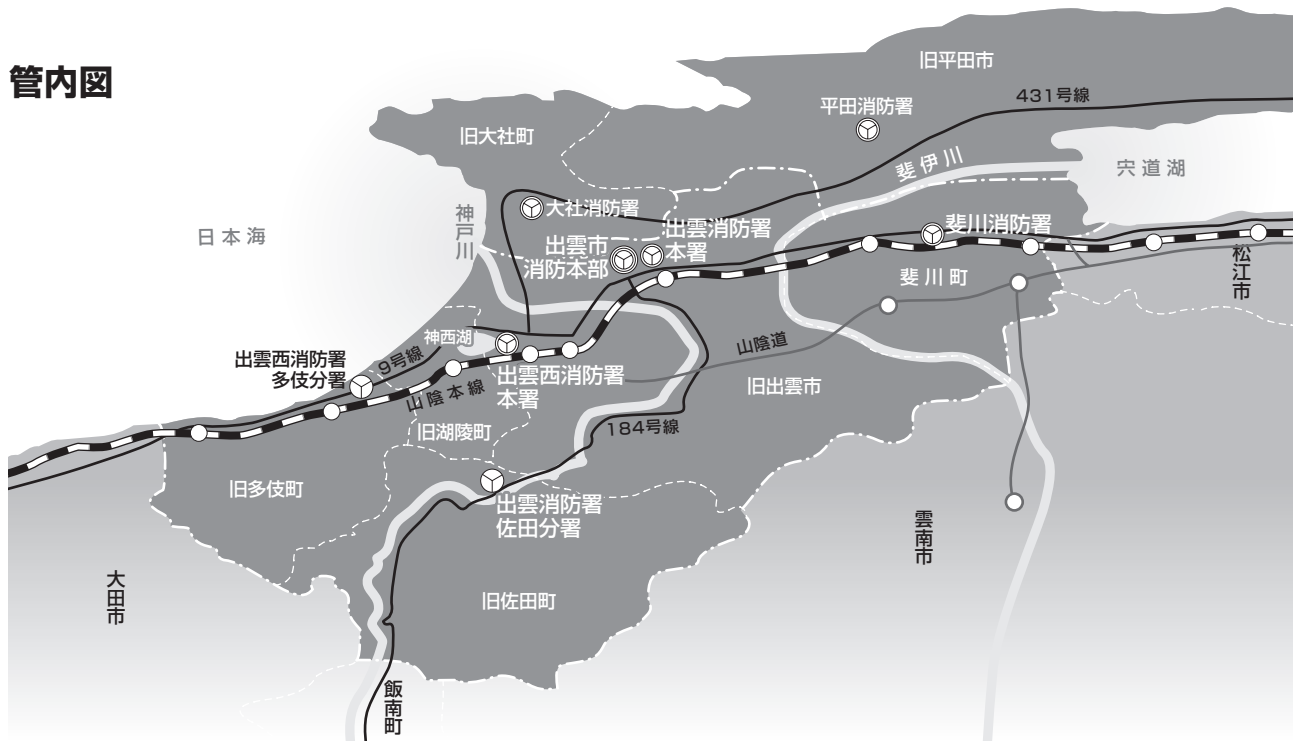
位置と地勢

「出雲市」は、島根県東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。

出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

日本海に面する島根半島の北及び西岸はリアス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有しています。

管内図



面積・人口及び世帯数

市町別	区分	面積 (km ²)	全人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数
出雲市		543.48	147,384	70,841	76,543	50,414
斐川町		80.64	28,364	13,875	14,489	8,535
計		624.12	175,748	84,716	91,032	58,949

消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）

区分		所在地	庁舎の構造	摘要	
所属					
出雲消防署	消防本部	出雲市渡橋町 253番地1	敷地面積 5,984.17㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造(一部4階建) 延面積 3,788.13㎡ ○訓練棟 主塔 鉄筋コンクリート造7階建 延面積 455.49㎡ 副塔 鉄骨造3階建 延面積 213.30㎡ 設備棟 鉄筋コンクリート造平屋建 床面積 28.00㎡	H10. 3.20	竣工
	本署		敷地面積 460.24㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 延面積 262.97㎡ ○車庫(兼倉庫) 木造カラー鉄板瓦葺き平屋建 延面積 36.00㎡	H7. 3.20	竣工
出雲西消防署	佐田分署	出雲市佐田町 反辺1747番地17	敷地面積 2,993.42㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造平屋建 延面積 768.92㎡	H11.10. 4	増築
	本署	出雲市神西新町 26番地3	敷地面積 993.70㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 延面積 286.24㎡	S47. 3.31 S58. 3. 5 H3. 9.20 H5. 10. 5 H15.10.30	竣工 増築 増築 増築
平田消防署	多伎分署	出雲市多伎町 久村509番地	敷地面積 391.50㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建(一部4階建) 延面積 888.75㎡	S41. 1.11	竣工
大社消防署	本署	出雲市平田町 951番地1	敷地面積 442.00㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 延面積 240.00㎡ ○車庫棟 鉄骨スレート造一部2階建 延面積 331.10㎡	S40. 5. 5 H11.10.20	竣工 竣工
斐川消防署	本署	出雲市大社町杵築南 1395番地	敷地面積 1,183.78㎡ ○庁舎棟 鉄骨造3階建 延面積 1,291.00㎡	H18.11. 1	竣工

出雲市外4町広域消防組合の沿革

昭和23年(1948)	3月 7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和23年(1948)	4月26日	出雲市消防本部設置(出雲市今市町743番地2)職員定数4名
昭和25年(1950)	9月 1日	常設消防組織となる(職員新規採用10名、職員定数14名)
昭和30年(1955)	3月22日	簸川郡朝山村、稗原村及び上津村が出雲市へ編入合併する
昭和30年(1955)	5月13日	出雲市消防本部が元出雲市警察署庁舎(新町興正町)へ移転
昭和31年(1956)	4月 1日	簸川郡神門村、神西村、長浜村が出雲市へ編入合併
昭和33年(1958)	5月 1日	出雲市今市町109番地1に出雲市役所庁舎が完成し、新庁舎に消防本部が移転
昭和43年(1968)	12月20日	出雲市消防庁舎(出雲市今市町106番地1市庁舎隣接)新築竣工
昭和46年(1971)	2月 4日	消防本部、消防署の義務設置の政令指定について自治省消防庁へ陳情書提出
昭和46年(1971)	3月 8日	島根県知事へ、出雲市外4町広域消防組合の設立について申請
昭和46年(1971)	3月15日	島根県知事より、出雲市外4町広域消防組合の設立許可 出雲市外4町広域消防組合準備事務のため事務局設置
昭和46年(1971)	6月 1日	自治省告示第110号により、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令(昭和46年政令第170号)本則に基づき次のとおり指定される 斐川町、佐田町、多伎町、湖陵町
昭和47年(1972)	3月31日	出雲市消防本部発足24年の歴史に幕を閉じる
昭和47年(1972)	4月 1日	出雲市外4町広域消防組合消防本部出雲消防署設置 (出雲市今市町106番地1)職員定数82名
昭和47年(1972)	4月 1日	出雲市外4町広域消防組合消防職員採用 出雲市派遣職員46名、組合採用職員36名、計82名
昭和47年(1972)	5月 1日	東部分署と西部分署へそれぞれ消防職員11名、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台を配置し消防、救急業務を開始
昭和48年(1973)	5月25日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(3B型)の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和48年(1973)	10月17日	小型動力ポンプ積載車(軽貨物自動車)を佐田出張所へ配備
昭和49年(1974)	5月 1日	小型動力ポンプ積載車(普通貨物自動車)を佐田出張所へ更新配備
昭和50年(1975)	2月 6日	水槽付消防ポンプ自動車(2t水槽付)を購入、本署へ配備
昭和50年(1975)	6月24日	(財)日本消防協会より、消防広報車(広報装置一式装備)の寄贈を受け本署へ配備
昭和50年(1975)	12月 1日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、消防ポンプ自動車(A-2級・ジープ車)を購入、本署へ配備
昭和52年(1977)	3月23日	出雲ライオンズクラブ(会長 奥井誓雄)より、査察車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和53年(1978)	3月27日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(1.6t水槽付)の

		寄贈を受け本署へ配備
昭和53年(1978)	4月27日	小型動力ポンプ積載車(ジープ車)を佐田出張所へ更新配備
昭和53年(1978)	11月27日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和53年(1978)	12月8日	化学消防ポンプ自動車(3型)を購入、本署へ配備
昭和53年(1978)	12月26日	指令車を購入、本署へ配備
昭和54年(1979)	2月7日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和54年(1979)	4月1日	職員新規採用4名、職員定数86名
昭和54年(1979)	9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、広報車の寄贈を受け本署へ配備
昭和54年(1979)	11月16日	消防防災施設等整備費補助事業により30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
昭和56年(1981)	2月6日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け佐田出張所へ配備
昭和56年(1981)	4月6日	救急自動車(2B型)を購入、本署へ配備
昭和56年(1981)	11月10日	(財)日本防火協会より、広報車(広報装置・映写装置一式装備)の寄贈を受け本署へ配備
昭和57年(1982)	5月30日	出雲市防火協会より、広報車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和57年(1982)	9月10日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備
昭和57年(1982)	9月20日	(財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
昭和58年(1983)	8月8日	消防ポンプ自動車(A-2級)を購入、西部分署へ配備
昭和59年(1984)	8月31日	消防ポンプ自動車(A-2級・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
昭和59年(1984)	9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、水防防災車の寄贈を受け本署へ配備
昭和59年(1984)	11月30日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
昭和60年(1985)	8月8日	(財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和60年(1985)	11月14日	救助工作車(バスケット・照明塔付)を購入、本署へ配備
昭和61年(1986)	10月1日	消防ポンプ自動車(A-2級・ジープ車・ホースカー装備)を購入、本署へ配備
昭和61年(1986)	10月1日	大型救急自動車(22人乗)を購入、本署へ配備
昭和61年(1986)	10月10日 ～12日	防災展『防災フェア'86』を開催(出雲地区防火協会と共催) 於、デパートパラオ
昭和62年(1987)	5月30日	小型ポンプ積載車(軽キャブバン・4WD)を購入、東部分署へ配備
昭和62年(1987)	8月6日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)の寄贈を受け本署へ配備
昭和62年(1987)	10月8日	査察車(査察1号車)を購入、予防課へ配備
昭和62年(1987)	10月17日	防災講演会 [(財)出雲地区防火協会・(社)日本損害保険協会共催] を開催 講師 日本気象協会主任技師 宮沢清治氏

昭和63年(1988)	1月 8日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和63年(1988)	4月 1日	救急自動車(2B型・4WD)を購入、佐田出張所へ配備
昭和63年(1988)	10月 8日	母と子の防火大会開催 [(財)出雲地区防火協会・(財)日本防火協会共催]
昭和63年(1988)	11月 16日	出雲市体育館に幼年消防、婦人防火クラブ員等1,000名参加 消防ポンプ自動車(A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備)を購入、佐田出張所へ配備
平成元年(1989)	9月 27日	広報車(広報2号車)を購入、本署へ配備
平成元年(1989)	10月 16日	出雲遊技業防犯協力会より、救急自動車(2B型・4WD)の寄贈を受け本署へ配備
平成元年(1989)	12月 22日	(株)船場、(株)装備より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
平成2年(1990)	1月 20日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備
平成2年(1990)	4月 19日	出雲市今市町代官町火災10周年にあたり、出雲市消防団との合同による大火想定訓練を実施する
平成2年(1990)	4月 26日	小型ポンプ積載車(軽キャブバン・4WD)を購入、西部分署へ配備
平成2年(1990)	5月 8日	査察車(査察2号車)を購入、予防課へ配備
平成2年(1990)	9月 19日	(財)日本防火協会より、斐川町商工会婦人防火クラブへ広報車(防火号)の寄贈を受け本署へ配備
平成2年(1990)	11月 27日	指令車(指令1号車)を購入、本署へ配備
平成3年(1991)	4月 1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成3年(1991)	8月 21日	(財)日本消防協会より、救急車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
平成3年(1991)	9月 11日	指令車(指令2号車)を購入、本署へ配備
平成3年(1991)	10月 1日	佐田町黒山山頂に、消防無線中継所を開設
平成4年(1992)	4月 1日	職員新規採用9名(職員退職に伴う補充1名を含む)、計94名となる 職員定数112名
平成4年(1992)	6月 18日	出雲市外4町広域消防組合発足20周年記念式典挙行
平成5年(1993)	4月 1日	職員新規採用13名(職員退職に伴う補充1名を含む)、計106名となる
平成5年(1993)	4月 1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成5年(1993)	5月 31日	消防組合初めての救急救命士1名誕生
平成5年(1993)	12月 15日	消防防災施設等整備費補助事業により、化学消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
平成6年(1994)	4月 1日	職員新規採用8名(職員退職に伴う補充1名を含む) 職員定数113名
平成6年(1994)	4月 1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣開始
平成7年(1995)	1月 17日	阪神・淡路大震災による火災鎮圧のため、神戸市にタンク車1台、職員5名の応援隊を派遣
平成7年(1995)	1月 25日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
平成7年(1995)	3月 11日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備

平成 7 年 (1995)	3月 20日	出雲消防署佐田出張所庁舎竣工
平成 7 年 (1995)	3月 21日	救急自動車(2B型・防振ストレッチャー装備)を東部分署へ配備
平成 7 年 (1995)	4月 1日	出雲消防署佐田出張所を出雲消防署南部分署に名称変更し、災害出場区域に出雲市乙立町を加え、業務開始
平成 7 年 (1995)	4月 1日	定数条例の改正により職員定数119名となる 職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名を含む)、計114名となる
平成 7 年 (1995)	9月 22日	防災2号車を本署へ更新配備
平成 7 年 (1995)	9月 25日	査察1号車を消防本部へ更新配備
平成 7 年 (1995)	10月 1日	職員新規採用3名、計117名となる
平成 7 年 (1995)	10月 26日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・4WD・電動ホースカー装備)を西部分署へ更新配備
平成 8 年 (1996)	1月 31日	積載車を出雲消防署南部分署へ増強配備
平成 8 年 (1996)	3月 15日	消防防災施設等整備費補助事業により、高規格救急自動車(日産パラメディック)を出雲消防署本署へ配備
平成 8 年 (1996)	4月 1日	職員新規採用6名(職員退職に伴う補充4名含む)、計119名となる
平成 8 年 (1996)	9月 21日 ~22日	『防災フェア'96いずも』開催
平成 8 年 (1996)	12月 1日	高規格救急自動車運用開始
平成 8 年 (1996)	12月 6日	救急自動車(2B型・9項目対応)を購入、南部分署へ配備
平成 9 年 (1997)	9月 2日	「出雲消防音楽隊」結成
平成10年 (1998)	2月 3日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
平成10年 (1998)	3月 20日	出雲消防本部・出雲消防署本署新庁舎竣工
平成10年 (1998)	3月 27日	消防緊急通信指令施設Ⅱ型完工
平成10年 (1998)	3月 30日	消防用無線通信設備完工 (財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成10年 (1998)	4月 1日	職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名含む)、計120名(条例定数119名・条例定数外1名)となる うち、当消防組合に初めて女性消防吏員1名採用 消防庁舎移転に伴う消防本部、消防署の組織を改める 新庁舎へ移転、業務を開始(出雲市渡橋町253番地1)
平成10年 (1998)	4月 18日 ~19日	
平成10年 (1998)	4月 27日	消防庁舎竣工式が挙行される
平成10年 (1998)	9月 24日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1.5t水槽付)の寄贈を受け東部分署へ配備
平成11年 (1999)	10月 20日	消防防災施設等整備費補助事業により、はしご付消防ポンプ自動車(30t級)を本署へ更新配備
平成11年 (1999)	12月 20日	積載車を出雲消防署東部分署へ更新配備
平成12年 (2000)	4月 1日	職員新規採用2名、計122名となる 職員定数121名(定数外1名)
平成12年 (2000)	4月 1日	(財)日本消防協会へ職員1名を研修派遣

平成12年(2000)	5月21日	防災イベント開催(於:ビッグハート出雲)
平成12年(2000)	8月24日	消防防災施設等整備費補助事業により消防ポンプ自動車(A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備)を購入、南部分署へ更新配備
平成12年(2000)	9月28日	消防防災施設等整備費補助事業により救助工作車(II型・4WD)を購入、本署へ配備
平成12年(2000)	12月4日	救急ワークステーション運用開始
平成13年(2001)	3月27日	(社)日本損害保険協会より、高規格救急自動車(トヨタハイメディック)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成13年(2001)	9月20日	マイクロバスを本署へ更新配備
平成14年(2002)	3月18日	(財)日本消防協会より赤バイ3台の寄贈を受け本署へ配備
平成14年(2002)	4月1日	(財)日本消防協会へ職員1名を派遣
平成14年(2002)	7月1日	広報車を消防本部へ更新配備
平成14年(2002)	7月24日	第25回全国消防職員意見発表(国立京都国際会館)へ出場 最優秀賞を受賞
平成14年(2002)	10月18日	出雲市外4町広域消防組合発足30周年記念式典
平成14年(2002)	11月27日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を東部分署へ更新配備
平成14年(2002)	12月27日	出雲地区合併協議会消防防災専門部会及び分科会設置
平成15年(2003)	1月22日	防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を購入 本署へ配備
平成15年(2003)	2月1日	出雲消防イントラネット事業運用開始並びにホームページ開設
平成15年(2003)	4月1日	出雲消防救急救命センターを設置し消防署の組織を改める
平成15年(2003)	7月30日	積載車を出雲消防署西部分署へ更新配備
平成15年(2003)	11月21日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を西部分署へ更新配備
平成16年(2004)	11月8日	指令1号車を消防本部へ更新配備
平成16年(2004)	12月1日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を南部分署へ更新配備
平成17年(2005)	3月21日	2市4町の合併により、出雲市外4町広域消防組合解散となる

平田市消防本部の沿革

昭和23年(1948)	3月7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和26年(1951)	4月1日	平田町、灘分村、国富村、西田村、鰐淵村、久多美村、檜山村、東村の 1町7村が合併して平田町となる
昭和26年(1951)	11月30日	平田町消防本部設置(職員定数4名)
昭和27年(1952)	10月	平田町消防署設置 平田町初の消防ポンプ自動車を購入配備
昭和29年(1954)	10月1日	一畑電気鉄道(株)より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備

昭和30年(1955)	1月 1日	平田町、北浜村及び佐香村の1町2村が合併して平田市となる
昭和30年(1955)	3月	平田市初の消防専用無線電話機を購入、消防署に基地局、消防車に移動局を設置
昭和35年(1960)	4月 1日	伊野村を編入する
昭和35年(1960)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和38年(1963)	11月 9日	消防指揮車1台を購入配備
昭和41年(1966)	4月 11日	消防庁舎竣工
昭和41年(1966)	5月 26日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和41年(1966)	11月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和43年(1968)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和44年(1969)	9月 1日	救急自動車を購入配備、救急業務開始
昭和45年(1970)	10月 1日	指揮連絡車を購入配備
昭和46年(1971)	6月 15日	消防署勤務体制が当直制から交替勤務制となる 職員数32名(内兼務職員9名)
昭和52年(1977)	7月 5日	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和55年(1980)	11月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
昭和56年(1981)	4月 1日	兼務制度から専任制度となる 職員数27名
昭和56年(1981)	5月 7日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和56年(1981)	5月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
昭和57年(1982)	2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
昭和58年(1983)	10月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和59年(1984)	10月	消防通信指令装置を購入、通信体制の万全を図る
昭和61年(1986)	4月 23日	防火広報車を購入配備
平成元年(1989)	8月 30日	第11回島根県総合防災訓練が平田市役所前及び宍道湖公園にて実施され、消防関係者外91機関 4,400人が参加した
平成2年(1990)	1月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
平成2年(1990)	2月	救急自動車を購入配備
平成2年(1990)	8月	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
平成2年(1990)	10月	資機材搬送車を購入配備
平成4年(1992)	2月	救助工作車、救助資機材を購入配備
平成4年(1992)	9月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
平成4年(1992)	12月	職員の定数条例の改正により職員定数36名となる
平成5年(1993)	1月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
平成6年(1994)	4月 1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成7年(1995)	1月 17日	阪神・淡路大震災により救助工作車1台職員4名の応援隊を派遣 平田市立病院医師、看護師、消防職員3名体制で救急隊を1月間派遣
平成8年(1996)	6月 5日	第18回島根県総合防災訓練、小津町密集地火災消火訓練が河下工業団地及び小津町地内で実施され、消防関係者外112機関 5,300人が参加
平成9年(1997)	3月	消防用無線中継施設を摺木山に設置
平成9年(1997)	8月	布勢地区において総合防災訓練を実施

平成 9 年 (1997) 11月	平田市消防本部初めての救急救命士 1 名誕生
平成10年 (1998) 4月 1日	職員の定数条例の改正により職員定数39名となる
平成10年 (1998) 11月	高規格救急車、高度救命資機材を購入配備
平成10年 (1998) 12月	消防ポンプ自動車 (CD-1・B型) を購入配備
平成11年 (1999) 4月 1日	鳥根県防災航空隊へ隊員として職員 1 名を派遣
平成12年 (2000) 2月	鳥根県共済農業協同組合連合会より救急自動車 (2B型) の寄贈を受け 配備
平成12年 (2000) 3月	資機材搬送車を購入配備
平成12年 (2000) 4月 1日	職員の定数条例の改正により職員定数40名となる
平成12年 (2000) 8月	第52回鳥根県消防大会、第44回鳥根県消防操法大会を平田市で開催
平成13年 (2001) 5月	水槽付消防ポンプ自動車 (Ⅱ型) を購入配備
平成13年 (2001) 10月	非常順次通報装置を購入設置
平成16年 (2004) 8月 10日	宝くじ協会より消火通報訓練指導車の寄贈を受け配備

大社町消防本部の沿革

昭和23年 (1948) 3月 7日	消防組織法 (昭和22年法律第226号) が施行され、自治体消防が発足
昭和26年 (1951) 4月 1日	大社町、荒木村、遥堪村、日御碕村、鷺鷥村が合併し大社町となる
昭和27年 (1952) 7月 1日	消防団常備制度実施
昭和27年 (1952) 12月 15日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和30年 (1955) 3月 7日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和37年 (1962) 9月 1日	大社町消防本部規則を制定し、大社町消防本部を設置
昭和37年 (1962) 12月 1日	大社町消防署を設置
昭和37年 (1962) 12月 26日	超短波無線局を開設 (消防署へ基地局、消防車へ移動局を設置)
昭和39年 (1964) 4月 1日	大社町消防本部条例定数が 7 名 (内兼務職員 2 名)
昭和39年 (1964) 12月 1日	消防本部及び消防署の職員 12 名をもって新しい消防体制を確立
昭和41年 (1966) 4月 1日	大社町消防本部・消防署庁舎新築
昭和42年 (1967) 4月 1日	消防職員定数23名 (内兼務職員12名)
昭和42年 (1967) 10月 6日	消防ポンプ自動車 1 台を購入、消防署へ更新配備
昭和43年 (1968) 11月 18日	(社) 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ 配備
昭和44年 (1969) 9月 1日	救急業務を任意実施で開始
昭和50年 (1975) 11月 1日	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入、消防署へ配備
昭和51年 (1976) 2月 20日	鳥根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署 へ配備
昭和55年 (1980) 9月 30日	消防ポンプ自動車 (BD-1型) を購入、消防署へ配備
昭和55年 (1980) 10月 5日	大社ライオンズクラブから指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和56年 (1981) 11月 9日	(社) 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
昭和57年 (1982) 7月 1日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備

昭和59年(1984)	5月31日	消防職員定数24名
昭和62年(1987)	7月1日	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年(1988)	1月16日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年(1988)	4月14日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成2年(1990)	8月18日	ショッピングセンター『エル』において第一回ふれあい消防展を開催
平成3年(1991)	2月25日	大社ロータリークラブより指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
平成4年(1992)	4月11日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成4年(1992)	11月1日	大社町消防フェスティバルを開催
平成5年(1993)	10月29日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成7年(1995)	1月17日	阪神・淡路大震災による島根県消火隊として神戸市へタンク車1台、職員3名の応援隊を派遣
平成7年(1995)	3月5日	第1回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年(1996)	1月25日	高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)を購入、消防署へ配備
平成8年(1996)	3月3日	第2回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年(1996)	4月1日	島根県防災航空隊へ職員1名派遣
平成8年(1996)	11月7日	大社町消防本部第1号の救急救命士誕生
平成8年(1996)	11月10日	第3回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成9年(1997)	3月19日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設助成事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成11年(1999)	10月22日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成12年(2000)	12月19日	救助工作車(Ⅱ型、救助資機材含)を購入、消防署へ配備
平成13年(2001)	3月5日	(財)日本消防協会より、指令車の寄贈を受け消防署へ配備
平成13年(2001)	8月9日	出雲大社教より高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成15年(2003)	11月2日	第4回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)

出雲市消防本部の沿革

平成17年(2005) 3月22日	出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町及び大社町の合併により、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部及び大社町消防本部が統合され出雲市消防本部が発足する 1本部3署2分署1出張所とする 斐川町の消防事務については受託方式とする
平成17年(2005) 12月20日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入、平田消防署へ更新配備
平成18年(2006) 3月22日	摺木消防無線中継所局舎竣工
平成18年(2006) 10月27日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入、出雲消防署本署へ更新配備
平成18年(2006) 10月27日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入、出雲消防署斐川出張所へ新規配備(消防事務受託先：斐川町事業)
平成18年(2006) 11月 1日	通信指令システムを一元化し、高機能消防通信指令システムを運用開始 斐川出張所庁舎移転業務開始、出張所体制を強化する
平成18年(2006) 11月14日	出雲消防署斐川出張所庁舎竣工式(消防事務受託先：斐川町事業)
平成19年(2007) 9月 1日	携帯・IP電話等発信位置情報通知システムを運用開始
平成19年(2007) 11月 4日	出雲市消防音楽隊10周年記念演奏会開催
平成20年(2008) 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を購入、本署へ配備
平成20年(2008) 11月19日	高規格救急自動車(日産エルグランド)を購入、大社消防署へ更新配備
平成22年(2010) 1月28日	(財)日本消防協会より広報車(日産バネット)の寄贈を受け、出雲市消防団へ配備
平成22年(2010) 2月 5日	出雲西消防署(新設)庁舎竣工
平成22年(2010) 2月 8日	出雲西消防署の業務を開始(出雲市神西新町26番地3) 出雲西消防署開署に伴い消防署体制を改組し、5署2分署体制とする 出雲消防署本署 └─ 出雲消防署佐田分署 出雲西消防署本署 └─ 出雲西消防署多伎分署 平田消防署 大社消防署 斐川消防署
	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)、指令車(日産キャラバン)を購入、出雲西消防署へ配備

消防本部・署配置図



総務編

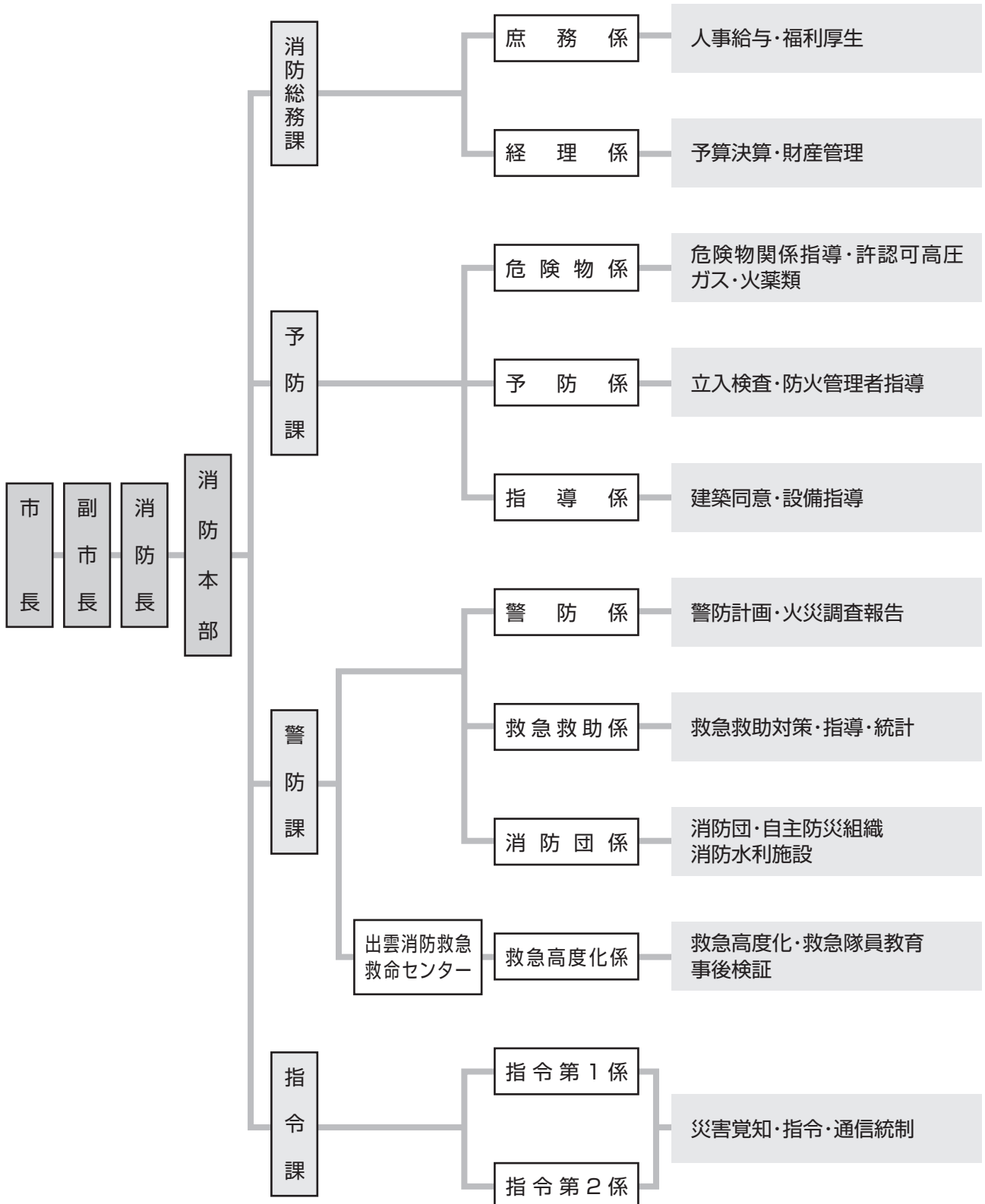


出雲西消防署庁舎竣工式・新庁舎全景

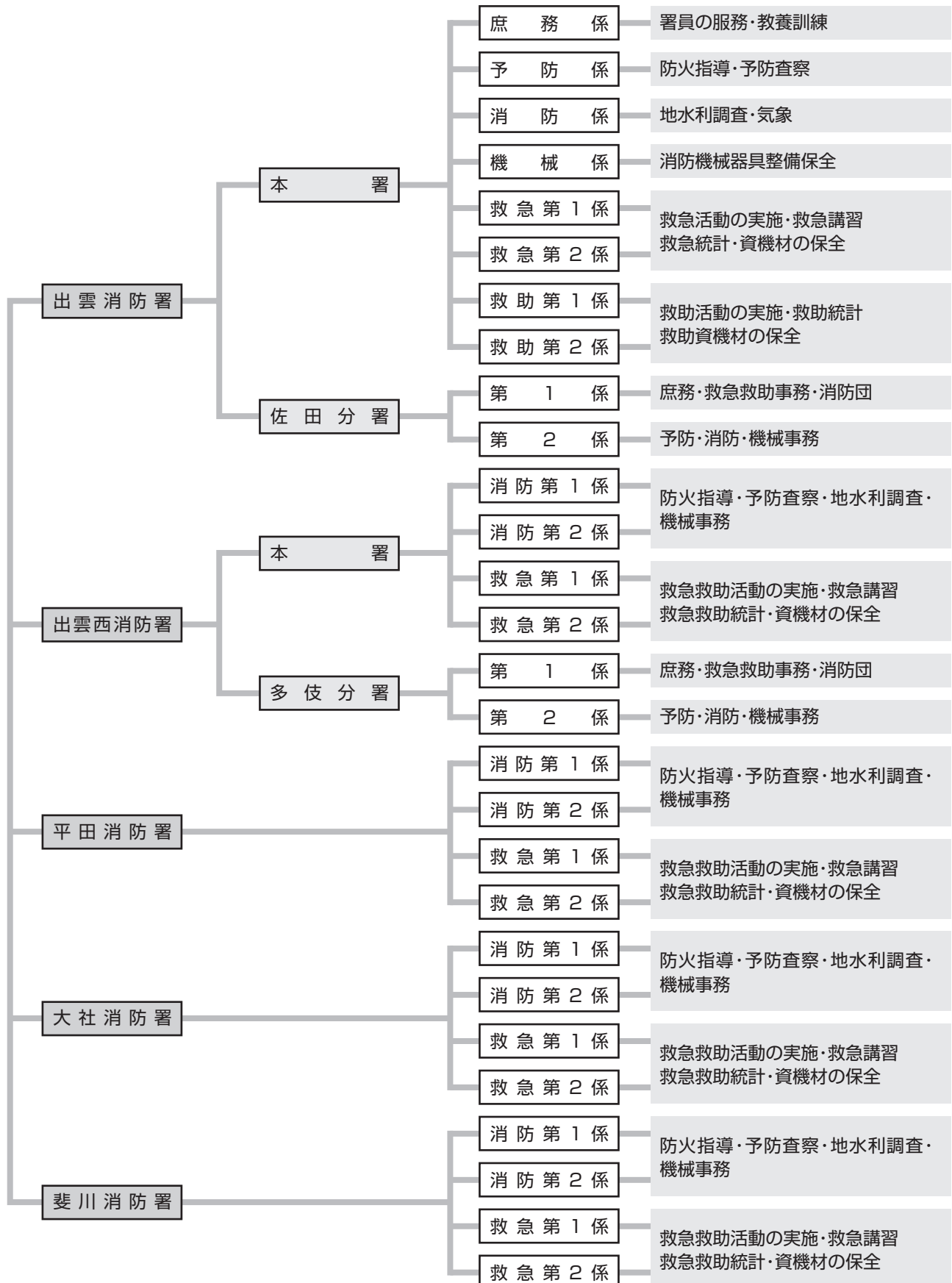
組織及び機構

出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

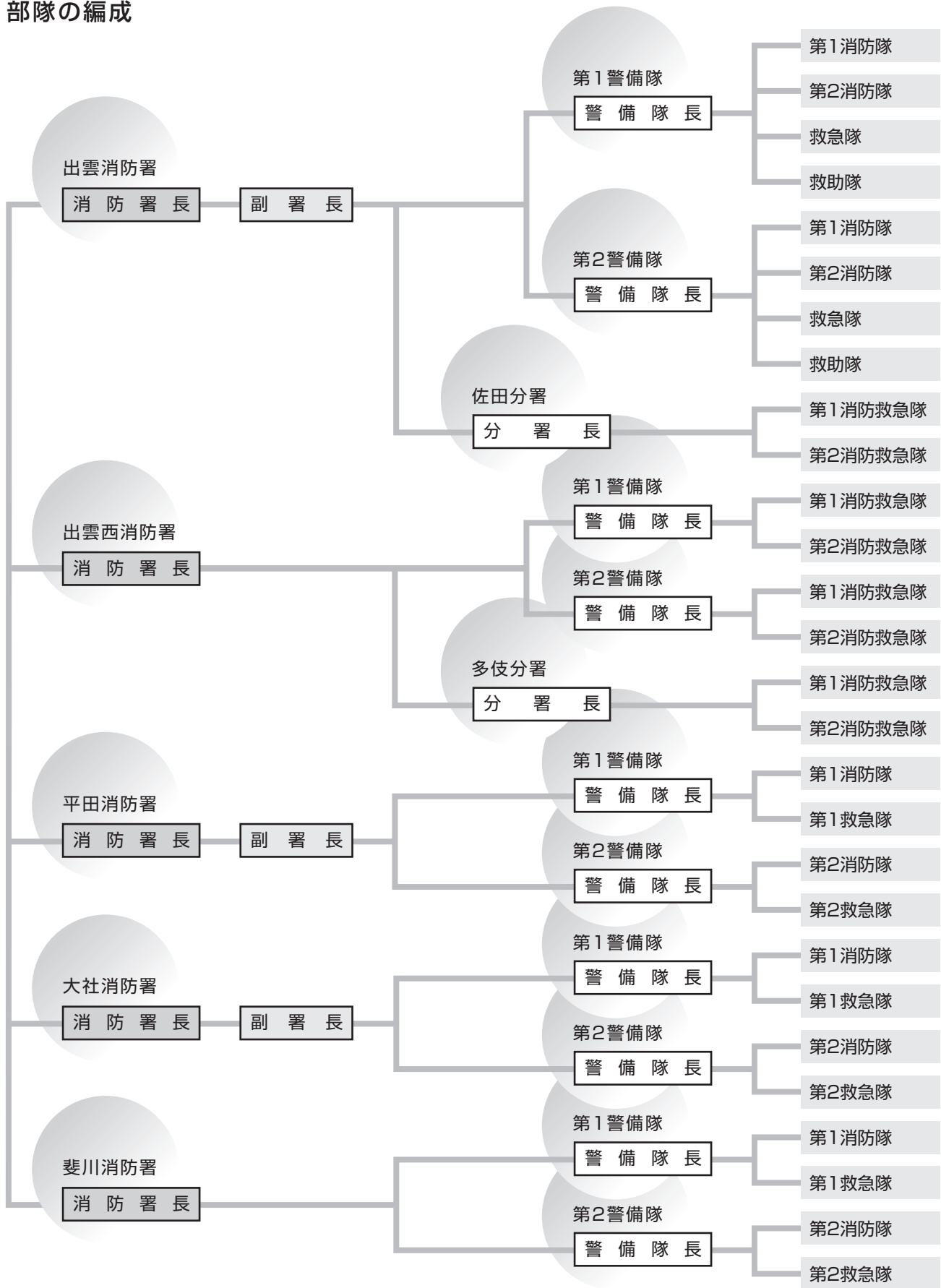
消防本部の組織及び機構



消防署の組織及び機構



部隊の編成



1月 5日	仕事始め
1月11日	出雲市消防出初式
2月20日	消防広報「ひまわり」第8号発行
3月 1日～ 7日	春季火災予防運動
4月30日	第1回出雲市新型インフルエンザ対策推進本部会議
5月18日	第2回出雲市新型インフルエンザ対策推進本部会議
6月 2日	第33回鳥根県消防救助技術大会参加（鳥根県消防学校）
6月16日、17日	防火管理に関する講習会（甲種）
7月12日	出雲地区女性防火クラブ連合会委員会
7月22日	第38回中国地区消防救助技術指導会参加（広島県消防学校）
8月 4日	平成21年度少年消防一日体験学習（出雲消防署）
8月 8日	第61回鳥根県消防大会（大田市）
8月 9日	第53回鳥根県消防操法大会（大田市）
8月20日	第38回全国消防救助技術大会参加（神奈川県横浜市）
8月20日	消防広報「ひまわり」第9号発行
9月 1日	出雲市防災訓練（湖陵町）
9月 9日	出雲空港航空機火災消火救難訓練参加（出雲空港）
10月 2日	平成21年度幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会
10月15日、16日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練（出雲市）
10月22日	J R総合事故合同対応訓練
11月10日	山陰自動車道防災訓練
11月 9日～15日	秋季火災予防運動
12月29日	仕事納め

予 算

平成22年度(2010)出雲市消防本部当初予算

(単位 千円)

項 目	節	予 算 額
消防費		1,845,257
常備消防費		1,561,208
	給料	727,571
	職員手当	480,754
	共済費	185,154
	賃金	1,692
	報償費	590
	旅費	11,886
	需用費	64,173
	役務費	27,303
	委託料	38,386
	使用料及び賃借料	7,587
	原材料費	20
	備品購入費	4,182
	負担金補助及び交付金	9,999
	公課費	1,911
非常備消防費		169,735
	報酬	69,835
	災害補償費	900
	報償費	34,716
	旅費	858
	交際費	65
	需用費	14,199
	役務費	5,295
	委託料	160
	使用料及び賃借料	804
	負担金補助及び交付金	41,699
	補償補てん及び賠償金	10
	公課費	1,194

(単位 千円)

項 目	節	予 算 額
消防施設費		95,312
	旅費	42
	需用費	6,047
	役務費	270
	委託料	825
	工事請負費	32,800
	原材料費	400
	備品購入費	37,338
	負担金補助及び交付金	17,380
	積立金	12
	公課費	198
防災費		19,002
	報酬	2,000
	報償費	2,144
	需用費	2,930
	役務費	207
	委託料	5,908
	使用料及び賃借料	868
	工事請負費	900
	備品購入費	2,513
	負担金補助及び交付金	1,460
	積立金	72
		1,845,257

市総予算との比較

(単位 千円)

区分 年次別	市総予算額	消防費予算額	市総予算と消防費との比
平成 22 年度	62,060,000	1,845,257	2.97

職員の現況

職員の配置

所 属	区 分	総 計	消 防 吏 員							消 防 事 務 職 員	
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		消 防 士
総 計		211	1	2	8	37	63	29	16	52	3
消 防 本 部	計	57 (1)	1	2 (1)	4	10	14	5	1	17	3
	消 防 長	1	1								
	次 長	3		2	1						
	消 防 総 務 課	22 (1)		(1)		2	5	1		14	
	予 防 課	8			1	2	2	1		2	
	警 防 課	7			1	2	1				3
	救急救命センター 指 令 課	3 13				1 3	1 5			1 1	
出 雲 消 防 署	計	56 (1)		(1)	1	8	19	9	6	13	
	署 長	(1)		(1)							
	副 署 長	1			1						
	本署警備隊	42				6	15	8	4	9	
	佐 田 分 署	13				2	4	1	2	4	
出 雲 西 消 防 署	計	32			1	6	11	4	2	8	
	署 長	1			1						
	本署警備隊	18				4	8		2	4	
	多 伎 分 署	13				2	3	4		4	
平 田 消 防 署	計	23 (1)			(1)	4	7	5	1	6	
	署 長	(1)			(1)						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	(1)				(1)					
	警 備 隊	22				3	7	5	1	6	
大 社 消 防 署	計	24 (1)			1	5	6	2	5	5	
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	(1)				(1)					
	警 備 隊	22				4	6	2	5	5	
斐 川 消 防 署	計	19			1	4	6	4	1	3	
	署 長	1			1						
	警 備 隊	18				4	6	4	1	3	

()内は兼務

消防吏員の年齢

階級 年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	208	1	2	8	37	63	29	16	52
18歳～20歳	11								11
21歳～25歳	23								23
26歳～30歳	35						3	14	18
31歳～35歳	43					16	25	2	
36歳～40歳	32					32			
41歳～45歳	14				1	12	1		
46歳～50歳	15				13	2			
51歳～55歳	11	1		1	9				
56歳以上	24		2	7	14	1			

(平均年齢36.7歳)

消防吏員の勤務年数

在職年数 区分	計	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上
職員	208	41	24	30	51	14	13	10	25

職員の資格・免許

消防吏員の資格免許取得状況

区 分		取得人員	区 分	取得人員
自動車運転免許	大型特殊	15	移動式クレーン	101
	大型二種	3	玉掛け技能	93
	大型一種	165	毒物取扱者	2
	普通二種	0	潜水士	5
	普通一種	196	小型船舶操縦士	31
	けん引	5	救急救命士	47
	自動二輪	104	救急Ⅱ課程修了者	98
整備	三級シャーシ整備士	2	救急標準課程修了者	58
特殊無線技士	1 級	12	電気工事士	3
	2 級	103	車両系建設機械運転技能者	9
	3 級	7	可搬消防ポンプ等整備資格者	7
アマチュア無線技士		21	足場組立作業主任者	7
危険物取扱者	甲 種	4	特定化学物質等作業主任者	2
	乙 種	56	ガス溶接講習修了	29
	丙 種	86	アーク溶接講習修了	10
消防設備士	甲 種	1	研削といし講習修了	1
	乙 種	76	第二種酸素欠乏危険作業主任者	23
予防技術資格者	防火査察専門員	14	介護福祉士	1
	消防設備等専門員	2	高圧ガス製造責任者（丙種化学）	13
	危険物専門員	3	第一種衛生管理者	1

消防相互応援協定状況

協定先の市町村、機関、事業所等の名称	協定の内容	締結年月日	締結方法
島根県下市町村及び消防にかかる一部事務組合	相互応援協定 (大規模火災及び特殊災害)	昭和52年4月1日	文書
島根県内の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	島根県防災ヘリコプター応援協定	平成6年3月28日	文書
島根県出雲空港管理事務所	出雲空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成17年3月22日	文書
島根県内消防本部	救急業務に関する相互応援協定	平成18年1月1日	文書
境海上保安部	境海上保安部と出雲市消防本部との消防業務協定	平成18年3月1日	文書
山陰自動車道及び松江自動車道消防相互応援協定	高速道における相互応援協定	平成18年11月25日	文書

広 報

広報実施状況

平成21年(2009)中

区 分	実 施 回 数
有・無線放送による広報	18回
消防広報ひまわり発刊	2回(100,000枚)
市町広報誌による広報	5回
防火指導会	23回(684人)
防火映画会	17回(1,319人)
巡回広報	28回
署見学	33回(1,627人)
計	126回(3,630人)

出雲市消防音楽隊

結成年月日 平成9年（1997）9月2日

結成の目的

自治体消防50周年の節目の年にあたる平成10年に新しい防災の拠点として最新鋭の機器を導入した消防庁舎の移転新築を機会としてとらえ、演奏によって消防広報を高め、住民と密着した防火防災意識の啓発を促し『消防職員の士気と情操をより高揚すること』を目的に結成しました。

隊員編成

隊長1名 副隊長1名 楽長1名 副楽長2名 隊員25名

楽器編成

ピッコロ	1	フレンチホルン	3	バスドラム	1
フルート	2	ユーフォニウム	2	コンサートバスドラム	1
B♭クラリネット	6	チューバ	1	シンバル	3
アルトサクソ	2	トロンボン	2	グロッケン	1
テナーサクソ	1	バストロンボン	1	ハーモニディレクター	
バリトンサクソ	1	スーザホン	2	その他 音響設備	
トランペット	5	スネアドラム	2		

主な活動 平成21年（2009）中

- 消防出初め式
- 出雲鍋料理フェスティバル
- 出雲市出雲4方面隊消防操法大会
- 平成21年度幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会
- 2009夢フェスタ in いずも
- 山陰自動車道出雲IC開通式



平成22年出初め式 於：出雲ドーム

予 防 編



消火技術訓練大会



夏休み少年消防一日体験学習



防災展

防火クラブの現況

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
幼 年 消 防 ク ラ ブ	平田保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和56年	212
	たちばな保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 町	昭和59年	186
	出東保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 三 分 市	昭和59年	97
	西園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 園 町	昭和59年	67
	ハマナス保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 湖 陵 町 二 部	昭和59年	103
	きんろう保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 新 崎 町	昭和59年	93
	莊原保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 上 庄 原	昭和59年	94
	出西保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 出 西	昭和59年	101
	あすなろ保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 白 枝 町	昭和60年	208
	おやま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 小 山 町	昭和60年	112
	神門保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 芦 渡 町	昭和60年	92
	中央保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和60年	112
	なかの保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 中 野 町	昭和60年	132
	えんや保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 上 塩 冶 町	昭和60年	82
	外園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 外 園 町	昭和60年	45
	おおつか保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 塚 町	昭和60年	171
	浜山保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 浜 町	昭和60年	104
	中部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 東 福 町	昭和60年	98
	北部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 坂 浦 町	昭和60年	31
	わにぶち保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 河 下 町	昭和60年	51
	さとがた保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 里 方 町	昭和61年	111
	出雲乳児保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和61年	98
	こぐま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 北 荒 木	昭和61年	158
	みなみ保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和61年	132
	平田幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 平 田 町	昭和61年	111
	東幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 園 町	昭和61年	85
	荒茅保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 荒 茅 町	平成3年	64
	多伎幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 多 伎 町 小 田	平成5年	48
	こどもランド幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 修 理 免	平成7年	33
	大社幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 杵 築 南	平成7年	41
	光幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 灘 分 町	平成11年	87
	出雲すみれ保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成13年	30
	日御碕幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 日 御 碕	平成13年	3
	ひかり保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成16年	31
	浜山あおい保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 天 神 町	平成19年	134
	ほくよう保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 稲 岡 町	平成21年	90
計		36団体	3,447名	

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
少年消防クラブ	直江親子会少年消防クラブ	斐川町大字直江町	昭和58年	186
	天神団地少年消防クラブ	出雲市天神町	昭和63年	61
	朝倉少年防火クラブ	出雲市大津朝倉	平成18年	35
	西野小第1学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成11年	} 202
	荘原小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字神庭	平成11年	
	中部小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字直江町	平成11年	
	出東小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字三分市	平成13年	
	西野小第2学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成18年	
計		8団体	484名	
	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
女性防火クラブ	日御碕婦人消防隊	出雲市大社町日御碕	昭和34年	23
	塩津町女性消防隊	出雲市塩津町	昭和36年	10
	坂浦町女性消防隊	出雲市坂浦町	昭和44年	4
	三津町女性消防隊	出雲市三津町	昭和46年	10
	美保町女性消防隊	出雲市美保町	昭和56年	9
	釜浦町女性消防隊	出雲市釜浦町	昭和58年	9
	鷺峠婦人防火クラブ	出雲市大社町鷺峠	昭和61年	15
	JAいずも四絡女性部婦人防火クラブ	出雲市小山町	昭和63年	177
	小伊津町女性消防隊	出雲市小伊津町	平成元年	9
	西地合女性消防隊	出雲市地合町	平成5年	25
	東地合女性消防隊	出雲市地合町	平成7年	22
	天神団地女性防火クラブ	出雲市天神町	平成17年	8
計		12団体	321名	
合計		56団体	4,252名	

防火対象物数

令別表項目別		市 町 別	総 数	出雲市	斐川町
合 計			6,444	5,462	982
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	6	
	ロ	公会堂・集会場	103	89	14
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブの類	3	2	1
	ロ	遊技場・ダンスホール	18	18	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	1	1	
	ニ	カラオケ・インターネット等個室店舗	3	3	
3	イ	待合・料理店の類	31	31	
	ロ	飲食店	176	152	24
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	322	279	43
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	126	98	28
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	1,484	1,337	147
6	イ	病院・診療所・助産所	155	136	19
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム	50	47	3
	ハ	老人デーサービスセンター・軽費老人ホーム	160	136	24
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	41	36	5
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	219	200	19
8		図書館・博物館・美術館	26	23	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0		
	ロ	イ以外の公衆浴場	4	4	
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	2	1	1
11		神社・寺院・教会の類	82	79	3
12	イ	工場・作業場	1,084	834	250
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1	
13	イ	自動車車庫・駐車場	87	71	16
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	2		2
14		倉庫	882	676	206
15		前各項に該当しない事業場	837	709	128
16	イ	令別表1~4、5イ、6、9イの用途に供する部分のある複合用途対象物	379	356	23
	ロ	イ以外の複合用途対象物	149	128	21
17		文化財・重要文化財	7	5	2
18		50メートル以上のアーケード	4	4	

一般予防関係事務処理件数

平成21年度中

	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出 書																			
	合 計	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	129	10	13	0	0	0	0	5	0	35	0	5	10	16	1	34	0	0	0	0
出雲市	111	8	13					2		32		5	10	7	1	33				
斐川町	18	2						3		3				9		1				

平成21年度中

	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書																						
	合 計	消火器具	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報器具	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	避難設備(標識)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	259	40	10	12	0	0	0	0	7	0	107	0	8	0	5	17	8	39	5	0	0	1	0
出雲市	219	35	8	10					2		92		8		5	12	7	35	4			1	
斐川町	40	5	2	2					5		15					5	1	4	1				

平成21年度中

	そ の 他 届 出 書																		
	合 計	防火管理者選解任届	消防計画	消防設備等点検結果報告書	防火対象物使用開始届	避難訓練の指導 消防計画に基づく	圧縮アセチレンガス等 貯蔵届	変電・発電・蓄電池設置届	ボイラー等設置届	煙火打ち上げ届	水素ガス気球設置届	催しもの開催届	又は火災を発生する行為 火災とまぎらわしい煙	禁止行為の解除承認	少量危険物貯蔵・取扱届	少量危険物貯蔵・取扱廃止届	ネオン管灯設備設置届	指定可燃物貯蔵・取扱	毒劇物貯蔵・取扱い届
計	3,955	222	347	1,338	97	632	38	42	24	123	0	14	968	58	30	17	0	5	0
出雲市	3,265	194	304	1,163	80	506	31	39	16	113		14	703	56	25	16		5	
斐川町	690	28	43	175	17	126	7	3	8	10			265	2	5	1			

中高層建物の状況

用途別 階数	合計	4店 項 舗		5項イ 旅 館		5項口 共 住		6項イ 病 院		7項 学 校		12項イ 工 場		15項 其 他 の 事 業 所		16項 複 用		項 合 途		其 他		計	
		出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川	出雲	斐川
3階	514	14	1	7	1	157	23	9	1	49	7	21	5	80	8	55	1	69	6	461	53		
4階	204	1		7	1	107	1	3		23		2	4	22	3	16		14		195	9		
5階	39			2		16	3	1		2				6		4		5		36	3		
6階	21			1		9	1	1		2		1	1	1	2			2		17	4		
7階	15			1		3		1						5		4	1			14	1		
8~9階	11					5		1		1			3			1				8	3		
10階以上	19			4		14		1												19			
計	823	15	1	22	2	311	28	17	1	77	7	24	13	114	13	80	2	90	6	750	73		

危険物製造所等施設数

製造所等の別		市 町 別	合 計	出 雲 市	斐 川 町
合 計			798	671	127
製 造 所			5	5	
貯 蔵 所	小 計		495	417	78
	屋 内 貯 蔵 所		74	61	13
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		105	94	11
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		8	6	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		202	165	37
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		7	7	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		89	76	13
	屋 外 貯 蔵 所		10	8	2
取 扱 所	小 計		298	249	49
	給 油 取 扱 所		170	141	29
	第 一 種 販 売 取 扱 所		0		
	第 二 種 販 売 取 扱 所		0		
	移 送 取 扱 所		9	9	
一 般 取 扱 所			119	99	20
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 所			823	686	137

貯蔵取扱数量別危険物施設数

製造所等の別		最大数量が指定数量の	計	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超えるもの
合計			798	366	141	160	51	25	25	30	0
製造所			5		2	2	1				
貯蔵所	小計		495	283	91	87	24	3	1	6	0
	屋内貯蔵所		74	42	13	13	6				
	屋外タンク貯蔵所		105	24	30	41	8	1	1		
	屋内タンク貯蔵所		8	7	1						
	地下タンク貯蔵所		202	120	40	26	8	2		6	
	簡易タンク貯蔵所		7	7							
	移動タンク貯蔵所		89	80	2	5	2				
	屋外貯蔵所		10	3	5	2					
取扱所	小計		298	83	48	71	26	22	24	24	0
	給油取扱所		170	17	21	42	22	20	24	24	
	第一種販売取扱所		0								
	第二種販売取扱所		0								
	移送取扱所		9	4	4	1					
	一般取扱所		119	62	23	28	4	2			

危険物関係事務処理件数

平成21年度中

区分		市町別	合計	出雲市	斐川町
許可	設置		16	13	3
	変更		31	24	7
	常置場所の変更	他許可行政庁に転出	1	1	
		他許可行政庁から転入	0		
完成検査	設置		16	15	1
	変更		35	29	6
	他許可行政庁から転入		0		
廃止届	完成検査前に設置許可の取り消し処分		0		
	完成検査前検査(タンク検査)		5	5	
休止届		4	3	1	
変更届		32	26	6	
譲渡引渡届		3	3		
仮使用承認		20	15	5	
仮貯蔵承認		2	2		
仮取扱承認		0			
保安監督者選解任届		38	33	5	

火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数

火薬類取締法関係

平成21年度中

	区 分	件 数		計
		出雲市	斐川町	
許 可	譲 渡 許 可			0
	譲 受 許 可	1		1
	譲 受 ・ 消 費 許 可	12		12
	消 費 許 可 (煙 火)	23	3	26
	消 費 許 可		1	1
	廃 棄 許 可			0
	計	36	4	40

高圧ガス保安法関係

平成21年度中

	区 分	件 数		計
		出雲市	斐川町	
許 可 完 成 保 安 検 査	製 造 (変 更) 許 可	1	1	2
	貯 蔵 所 設 置 (変 更) 許 可			
	充 て ん 設 備 (変 更) 許 可			7
	製 造 施 設 完 成 ・ 保 安 検 査	4	3	
	貯 蔵 所 完 成 検 査			
新 規 ・ 変 更 等 届	高圧ガス製造事業(軽微変更・変更)届	12	3	26
	高圧ガス貯蔵所設置(軽微変更・変更)届	1		
	特定高圧ガス消費(変更)届	1		
	危 害 予 防 (変 更) 届			
	高圧ガス販売事業(ガス種変更)届	2	1	
	高圧ガス製造販売貯蔵消費承継届		1	
	高圧ガス製造販売貯蔵消費(休止)廃止届	4	1	
事 故 届				
計	25	10	35	

液化石油ガス法関係

平成21年度中

処 理 内 容	件 数		計
	出雲市	斐川町	
充 て ん 設 備 変 更 届	4		4
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	4		4

警 防 編



中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練

火災統計

火災の概要

区分 月別	火災件数(件)							焼損棟数(棟)				焼損面積		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積(m ²)	林野(a)
H17年(2005)	64	30	5	6	0	0	23	40	13	3	14	10	1,876	43
H18年(2006)	59	32	2	5	0	0	20	43	14	2	10	17	2,085	5
H19年(2007)	71	42	4	3	0	0	22	67	25	5	20	17	4,739	97
H20年(2008)	57	28	3	5	0	0	21	35	4	1	11	19	648	5
H21年(2009)	54	27	2	4	1	0	20	38	11	1	12	14	1,748	1
1月	6	6						7	3	1	1	2	574	
2月	2	2						2			2		5	
3月	6	3		1			2	5	2		2	1	401	
4月	9	3	1	1			4	6	3		3		260	1
5月	4			1	1		2	0						
6月	9	4		1			4	6	2		2	2	365	
7月	0							0						
8月	6	2					4	3			1	2		
9月	4	2					2	4	1		1	2	143	
10月	4	2	1				1	2				2		
11月	2	2						2				2		
12月	2	1					1	1				1		
出雲市	48	23	2	4	1	0	18	34	11	1	11	11	1,740	1
斐川町	6	4	0	0	0	0	2	4	0	0	1	3	8	0

平成21年(2009)中

死傷者(人)		り災世帯(世帯)				り 災 人 員	損 害 額 (千円)									
死 者	負 傷 者	計	全 損	半 損	小 損		合 計	建 物			林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
								小 計	建 築 物	収 容 物						
3	6	20	8	2	10	62	99,192	98,339	78,741	19,598	0	773	0	0	80	0
7	5	24	8	2	14	78	125,752	123,885	94,241	29,644	0	1,704	0	0	163	0
3	16	48	17	2	29	138	427,562	426,242	334,018	92,224	62	399	0	0	857	2
1	11	17	5	0	12	57	69,244	43,830	29,106	14,724	3	22,682	0	0	2,709	20
2	3	18	8	0	10	44	178,485	176,221	144,253	31,968	0	1,311	431	0	522	0
		5	3		2	15	40,497	40,497	37,014	3,483						
		2			2	4	161	161	138	23						
1		2	1		1	5	64,838	64,758	43,680	21,078		80				
	2	2	1		1	7	14,031	13,343	11,048	2,295		547			141	
		0					932	0				500	431		1	
		2	2			2	53,428	53,222	48,471	4,751		184			22	
		0					0	0								
		0					236	16	4	12					220	
		3	1		2	6	4,106	4,106	3,887	219						
		1			1	1	206	68	5	63					138	
		1			1	4	50	50	6	44						
1	1	0					0	0								
2	1	17	8	0	9	40	177,287	175,023	143,086	31,937	0	1,311	431	0	522	0
0	2	1	0	0	1	4	1,198	1,198	1,167	31	0	0	0	0	0	0

建物用途別損害状況

平成21年(2009)中

用途別	区分	出火件数	焼損棟数	り災世帯	り災人員	建物焼損床面積(m ²)	損害額(千円)
住	宅	10	15	10	26	1,108	109,141
共	同 住 宅	4	4	4	9	45	5,682
併	用 住 宅	1	2	2	4	235	19,486
工	場	3	3				74
別	荘	1	3	2	5	143	3,946
展	示 場	1	1			183	32,411
車	庫	1	1			22	1,192
倉	庫	1	1			11	
店	舗	1	1				4,051
飲	食 店 舗	1	1				215
病	院	1	1				19
作	業 場	1	1				
納	屋	1	1				
計		27	35	18	44	1,747	176,217

※建物火災以外の火災で建物に延焼した事案があったため、火元建物の焼損棟数は表1-1焼損棟数と同数ではない。
 また、建物焼損床面積及び損害額も一致しない。
 ※爆発損害額を含む。

曜日別・時間別火災発生状況

平成21年(2009)中

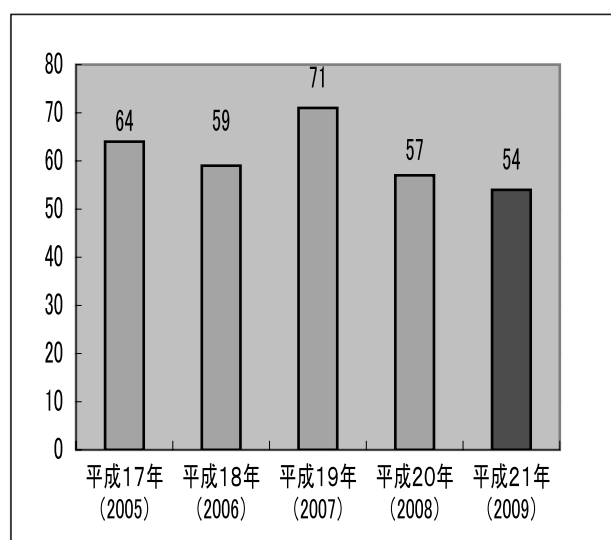
時間	曜日								計
	日	月	火	水	木	金	土	日時分不明	
0～2			1						1
2～4		2		1	1				4
4～6	1								1
6～8		1	1		1				3
8～10			1						1
10～12	1	1	2	1	2	1	1		9
12～14	1					2			3
14～16		1	1	2	3	1	1		9
16～18			1	1	2	3	1		8
18～20	2	2		1	1		3		9
20～22									0
22～24	1	1	1				1		4
時間不明					2				2
日時分不明									0
計	6	8	8	6	12	7	7		54

出火原因別火災件数・損害額

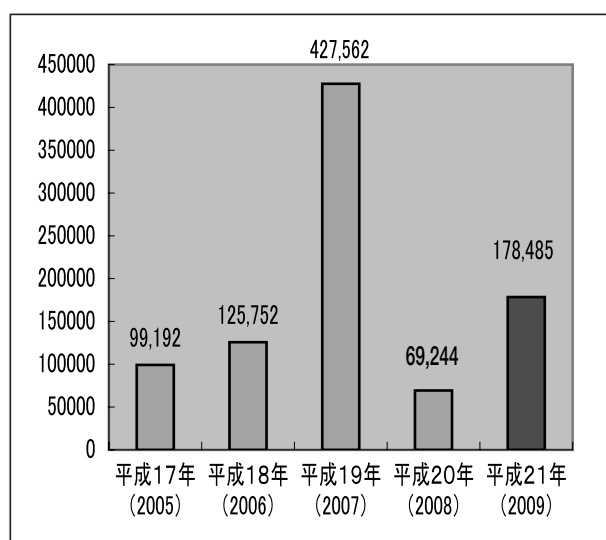
平成21年(2009)中

用途別	区分	出火件数	出雲市	斐川町	損害額 (千円)
たき火		7	7		27
火入れ		6	6		142
こんろ		5	5		19,684
放火		5	4	1	111
たばこ		4	4		5,650
放火の疑い		2	2		4,261
排気管		2	2		1,047
焼却炉		1	1		3,946
電灯・電話等の配線		1		1	1186
ストーブ		1	1		549
煙突・煙道		1	1		10
溶接機・溶断機		1	1		0
その他		7	4	3	37,539
不明・調査中		11	10	1	104,333
計		54	48	6	178,485

過去5年間の火災発生状況(件数)



過去5年間の火災損害額(単位:千円)



救急統計

救急の概要

月別 区分	出場件数	搬送人員	救 急			
			火 災	自然災害	水 難	交 通
H17年(2005)	4,695	4,501	4	0	13	745
H18年(2006)	4,865	4,752	7	0	8	686
H19年(2007)	5,151	4,650	13	0	7	713
H20年(2008)	5,081	4,776	5	0	10	670
H21年(2009)	5,209	4,843	3	7	9	621
1 月	496	484				69
2 月	413	392		4	3	43
3 月	426	398		3	1	53
4 月	419	386	1			51
5 月	393	366				48
6 月	375	339	2		1	38
7 月	403	377			1	59
8 月	470	434			1	43
9 月	464	416			1	60
10 月	445	412				60
11 月	421	398			1	51
12 月	484	441				46
出雲市	4,498	4,132	2	7	9	509
斐川町	703	707	1			109
管 外	8	4				3

平成21年(2009)中

事 故 種 別 (件数)							出場件数 一日平均	搬送人員 一日平均
労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他		
61	69	568	13	66	2,879	450	12.86	12.33
37	58	587	26	107	2,967	382	13.33	13.02
54	58	598	16	93	3,190	409	14.11	12.74
32	47	611	12	90	3,209	395	13.88	13.05
38	43	635	25	94	3,269	465	14.27	13.27
5	2	38	1	10	343	28	16.00	15.61
1	1	53	5	6	259	38	14.75	14.00
2		51	2	5	269	40	13.74	12.84
1	2	44		8	267	45	13.97	12.87
4	10	45	1	5	241	39	12.68	11.81
4	10	45		7	227	41	12.50	11.30
5	4	63	2	12	231	26	13.00	12.16
3	4	85	2	6	271	55	15.16	14.00
5	2	49	3	14	286	44	15.47	13.87
6	6	54	5	11	272	31	14.35	13.29
1	2	46	3	5	274	38	14.03	13.27
1		62	1	5	329	40	15.61	14.23
30	40	553	25	79	2,870	374	12.32	11.32
7	3	82		15	399	87	1.93	1.94
1						4	0.02	0.01

傷病者年齢区分別搬送人員

平成21年(2009)中

年齢区分	事故種別												計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
新生児 (生後28日以内)											3	3	6
乳幼児 (生後29日以上満7歳未満)				28			26				163	8	225
少年 (満7歳以上満18歳未満)				65		22	22			3	76	7	195
成人 (満18歳以上満65歳未満)		5	4	391	29	20	157	14	52	905	100		1,677
老人 (満65歳以上)	1	1	1	187	7	1	395	6	7	1,900	234		2,740
計	1	6	5	671	36	43	600	20	62	3,047	352		4,843

傷病程度別搬送人員

平成21年(2009)中

傷病程度	事故種別												計	比率(%)
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
死亡			2	4			4		16	95	2		123	2.6
重症			1	18	2		26	1	7	335	85		475	9.8
中等症		3		187	18	14	299	4	23	1,278	218		2,044	42.2
軽症	1	3	2	456	15	29	269	15	16	1,331	44		2,181	45.0
その他				6	1		2			8	3		20	0.4
計	1	6	5	671	36	43	600	20	62	3,047	352		4,843	100.0

救急隊員の行った応急処置件数

平成21年(2009)中

事故種別		合計	急病	交通	一般負傷	その他
応急処置	対象人員	4,810	3,037	655	597	521
止	血	76	14	12	41	9
固	定	1,030	67	585	301	77
人	工呼	110	97	2	2	9
心	臓マ	1				1
※	うち自					
心	肺蘇	195	148	4	17	26
※	うち自	8	5			3
酸	素吸	2,272	1,755	119	140	258
気道確保	経鼻エアウェイ	108	92	1	4	11
	咽頭鏡・鉗子等	58	42	1	13	2
	食道閉鎖式エアウェイ	114	94	3	6	11
	気管挿管	29	22		6	1
	合計	309	250	5	29	25
保	温	164	97	22	22	23
被	覆	269	16	80	129	44
在宅療法継続	化学療法の点滴	1	1			
	人工肛門等の外瘻					
	上記以外の措置	13	12		1	
	合計	14	13		1	
血	圧測	4,373	2,746	598	557	472
聴	診器による聴取	2,534	1,720	377	211	226
血	中酸素飽和度測定	4,600	2,909	627	574	490
心	電図測定	2,832	2,261	108	198	265
シ	ョックパンツ	1			1	
除	細動	26	23		2	1
静脈路確保	輸液	165	127	3	15	20
	薬剤投与	110	82		12	16
	合計	275	209	3	27	36
そ	の他の応急措置	2,194	1,746	52	173	223
合	計	21,275	14,071	2,594	2,425	2,185

○※印欄(うち数)は合計に計上しない。

○一人に複数の応急措置を実施することがある為、合計と応急処置対人数とは一致しない。

救急隊員生涯教育実施状況（ワークステーション）

平成21年(2009)中

年 別	件数等	年間実施週数	研修隊員総数	出場件数	うち医師同乗件数	※研修期間
平成16年以前		99	270	385	160	5日間（休日を 除く月曜日から 金曜日） 午前8時30分～ 午後5時15分
平成17年		37	50	157	46	
平成18年		27	71	44	44	
平成19年		27	81	99	98	
平成20年		29	87	138	136	
平成21年		28	84	162	159	
計		247	643	985	643	

(注) 救急隊員生涯教育は、出雲地区救急業務連絡協議会構成4消防本部から3名の救急隊員を救急指定病院に派遣し、救急隊員の生涯教育を実施するとともに、重症度の高い救急事案については医師同乗のうえ現場出場することにより、救急隊員のレベルアップと、プレホスピタルケア（病院前）からホスピタルケア（病院）への連続性のある医療の充実を目指し、救命率の向上を図ることを目的として行っています。

応急手当普及啓発活動状況

(1) 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

平成21年(2009)中

年 別	普通救命講習		上級救命講習		応急手当普及員		その他の講習		計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成16年以前	633	14,439	29	646	11	223	976	43,551	1,649	58,859
平成17年	79	1,695	4	95			146	4,675	229	6,465
平成18年	152	3,522	6	138	2	49	133	4,061	293	7,770
平成19年	119	2,265	2	47	3	82	198	6,168	322	8,562
平成20年	115	2,450	4	74	3	92	260	8,175	382	10,791
平成21年	95	2,187	1	13			225	7,164	321	9,364
計	1,193	26,558	46	1,013	19	446	1,938	73,794	3,196	101,811

(2) 応急手当指導員講習修了者

平成21年(2009)中

年別	区分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	計
平成16年以前		176			176
平成17年		12			12
平成18年		4			4
平成19年		7			7
平成20年		6			6
平成21年		6			6
計		211	0	0	211

(注) 講習Ⅰ：救急救命士又は救急隊員、消防機関在職中に救急隊員の資格を有していたもので8時間の講習を修了したもの。

(注) 講習Ⅱ：上記以外のもので、応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると署長が認めたもの又は消防職員であった者で、24時間の講習を修了したもの。

(注) 講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有する者で、16時間の講習を修了したもの。

救助の概要

件数・種別等		年別	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)	H18年 (2006)	H19年 (2007)	H20年 (2008)	H21年 (2009)
		出場件数	132	140	173	160	124	146	135
活動件数	43	52	59	65	39	67	59		
救助人員	53	52	69	216	38	64	72		
災害種別 (件数)	火災	42	46	31	36	41	29	27	
	交通事故	63	57	88	71	58	75	67	
	水難事故	1	6	10	12	5	9	7	
	風水害等自然災害	1			8			1	
	機械による事故	4	2	4		1	2		
	建物等による事故	2	1	1	3	2	1	1	
	ガス及び酸欠事故	1					1		
	爆発事故								
	その他の事故	18	28	39	30	17	29	32	



倒壊建物からの救出訓練
(緊急消防援助隊合同訓練)



車両からの救出訓練
(平成21年度 出雲市防災訓練)

消防機械 器具の現況

消防車両の配備

車種	所属							
	計	消本出 防雲 本署 部署署	佐 田 分 署	本 出 雲 西 消 防 署	多 伎 分 署	平 田 消 防 署	大 社 消 防 署	斐 川 消 防 署
計	62	25	3	5	3	11	9	6
消 防 ポ ン プ 自 動 車	8	2	1	1	1	1	1	1
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	2		1		1	1	1
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	1						
は し ご 自 動 車	1	1						
救 助 工 作 車	4	1				1	1	1
小 型 ポ ン プ 積 載 車	3		1		1		1	
緊 急 消 防 自 動 二 輪 車	3	3						
高 規 格 救 急 車	13	3	1	2	1	2	2	2
救 急 自 動 車	1	1						
指 令 車	7	2		1		1	2	1
広 報 車 ・ 査 察 車	6	3				2	1	
水 防 防 災 車	2	1				1		
マ イ ク ロ バ ス	1	1						
消 火 ・ 通 報 訓 練 指 導 車	1					1		
そ の 他 の 車 両	5	4				1		

特殊器具一覧表

機 器 区 分			数量	機 器 区 分			数量	
救 助 用 器 具	かぎ付梯子		14	隊 員 保 護 器 具	空気呼吸器（8型）		61	
	二連梯子		12		酸素呼吸器（10型）		10	
	三連梯子		7		簡易呼吸器		3	
	折りたたみ梯子		1		防毒マスク		19	
	空気式救助マット		3		耐電衣		14	
	救命索発射銃		10		耐電ズボン		8	
	緩降機		4		耐電手袋		25	
	マット式空気ジャッキ		5		耐電長靴		10	
	油圧電動ポンプ		1		耐熱服		7	
	油圧エンジンポンプ		3		陽圧式化学防護服		3	
	油圧フートポンプ		4		携帯警報機		10	
	油圧ハンドポンプ		3		防塵マスク		194	
	油圧スプレッター		4		防塵メガネ		172	
	油圧カッター		4		消 火 器 具	高・低発泡器		8
	油圧ペダルカッター		3	ピックアップ式泡ノズル			8	
	油圧プランジャーラム		4	ジェットシューター			78	
	油圧コンビツール		4	林野火災用マルチジョイント			5	
	スパカッター		5	小型動力ポンプ			11	
	エンジンカッター		8	組み立て式水槽			9	
	電動カッター		1	可搬式放水銃			2	
	ガス溶断器		2	測 定 器		複合ガス測定器		6
	空気鋸		4			有毒ガス測定器		1
	チェンソー		19			放射線測定器		1
	ハンマードリル		2	救 急 器 具	酸素吸入器		52	
可搬ウインチ		8	電池式吸引機			35		
チェンバーホイスト		1	スクープストレッチャー			35		
発動発電機		21	防振ストレッチャー			20		
削岩機		4	喉頭鏡鉗子セット			44		
バスケット型担架		5	耐振動血圧計			28		
送排風機		2	患者監視モニター			30		
救助用三脚		4	自動人工呼吸器			28		
ストライカー		5	除細動器			36		
山岳救助用ウインチ		1	自動心臓マッサージ器			26		
マンホール救助器具		3	ショックパンツ			44		
救助用工具セット		6	KED（救出器具）			34		
簡易画像探索機		2	心電図伝送装置			26		
水 難 救 助 器 具	救命胴衣		230		バックボード		45	
	救命浮環		36	携帯心電計		30		
	救命ボート		6	在宅医療処置用セット		13		
	船外機		3	多目的副子		33		
	水中投光器		2					

消防車両の装備

【消防本部・出雲消防署 本署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)		いすゞ	KC-NKR71GN (H10年式)	130PS 2,282ℓ/min	いずも 1
2号車(ポンプ車)		日産	T-FGY60改 (H2年式)	160PS 2,906ℓ/min	いずも 2
3号車(タンク車)		日野	BDG-GD7JGWA改 (H20年式)	220PS 2,293ℓ/min	いずも 3
4号車(タンク車)		三菱ふそう	U-FK681EW改 (H7年式)	210PS 2,620ℓ/min	いずも 4
化学車		三菱ふそう	U-FM618H改 化Ⅲ型(H5年式)	210PS 2,600ℓ/min	いずもかがく
梯子車		三菱ふそう	KC-FU519NY改 35ℓ(H11年式)	355PS	いずもはしご
救助工作1号車		日野	KK-CX1JGDA改 (H12年式)	220PS (4WD)	いずもこうさく1
救急1号車(高規格救急車)		トヨタ	GE-VCH32S (H12年式)	180PS	いずもきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)		トヨタ	CBF-TRH226S (H18年式)	150PS (4WD)	いずもきゅうきゅう2
救急3号車		トヨタ	GA-RZH133S (H10年式)	120PS	いずもきゅうきゅう3
救急5号車(高規格救急車)		いすゞ	KC-NPR71LV改 (H8年式)	140PS	いずもきゅうきゅう5
指令1号車		トヨタ	TC-VCH28S (H16年式)	180PS (4WD)	いずもしれい1
指令2号車		三菱	E-C12W改 (H3年式)	85PS	いずもしれい2
緊急消防自動二輪車(赤パイ3台)		ヤマハ	BA-DG08J (H13年式)	20PS	
広報1号車		トヨタ	T-RZH112V改 (H2年式)	92PS	いずもこうほう1
広報2号車		トヨタ	GK-KR52V (H17年式)	82PS	
総務1号車		日産	GF-HC35 (H14年式)	155PS	いずもそうむ1
総務2号車		スバル	V-KW3 (H10年式)	42PS	
総務3号車		日産	ABF-SK82MN (H21年式)	95PS	
査察2号車		トヨタ	DAA-NHW20 (H16年式)	エンジン 76PS モーター 68PS	
防災1号車		日野	KK-RX4JFEA (H13年式)	175PS	いずもぼうさい1
防災2号車		日産	KC-P8F23改 (H7年式)	85PS (4WD)	いずもぼうさい2
警防2号車		三菱	E-CB2W (H7年式)	91PS	

【出雲消防署 佐田分署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及 放水能力	無線局呼出名称
消防車(ポンプ車)		三菱	KK-FG53ED (H12年式)	155PS 2,230ℓ/min(4WD)	さだ 1
救急車(高規格救急車)		日産	TC-FPWGE50改 (H16年式)	240PS (4WD)	さだきゅうきゅう
小型動力ポンプ積載車		スズキ	V-DF51V改 (H8年式)	42PS (4WD)	さだ 2

【出雲西消防署 本署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
消防車(ポンプ車)		いすゞ	U-NKR66N改 (H7年式)	130PS 2,110 ^{リットル} /min	にし 1
消防車(タンク車)		日産	KK-LK26A改 (H15年式)	225PS 2,160 ^{リットル} /min	にし 3
救急1号車(高規格救急車)		トヨタ	CBF-TRH226S (H21年式)	150PS (4WD)	にしきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)		トヨタ	KC-KZH138S (H8年式)	130PS (4WD)	にしきゅうきゅう2
指令車		日産	ADF-CWMGE25 (H22年式)	130PS (4WD)	にししれい 1

【出雲西消防署 多伎分署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
消防車(ポンプ車)		三菱	KC-FG538C改 (H7年式)	130PS 2,110 ^{リットル} /min(4WD)	たき 1
救急車(高規格救急車)		トヨタ	TC-VCH38S (H15年式)	180PS (4WD)	たききゅうきゅう
小型動力ポンプ積載車		日産	KG-SK22MN (H15年式)	79PS (4WD)	たき 2

【平田消防署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
2号車(ポンプ車)		三菱	U-FG337C改 (H5年式)	115PS 2,130 ^{リットル} /min(4WD)	ひらた 2
4号車(タンク車)		日産	KK-LK262EH改 (H13年式)	225PS 2,419 ^{リットル} /min	ひらた 4
救助工作車		日野	U-GD3HGAA改 (H4年式)	205PS	ひらたこうさく
救急1号車(高規格救急車)		トヨタ	GB-VCH38S (H10年式)	180PS (4WD)	ひらたきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)		日産	TC-FPWGE50改 (H16年式)	240PS (4WD)	ひらたきゅうきゅう2
指令車		日産	KG-SK22MN (H11年式)	79PS (4WD)	ひらたしれい 1
広報1号車		トヨタ	T-RZH112V改 (H4年式)	110PS	ひらたこうほう1
広報2号車		トヨタ	E-ST190 (H5年式)	125PS	ひらたこうほう2
防災1号車		スズキ	E-JA22W (H10年式)	64PS	ひらたぼうさい1
防災2号車		三菱	KK-FE52CE (H12年式)	125PS	ひらたぼうさい2
消火・通報訓練指導車		マツダ	TC-SYE4T (H16年式)	100PS	
自動二輪車		ヤマハ	2JL (H11年式)	16PS	

【大社消防署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)		三菱ふそう	KC-FE538B改 (H9年式)	140PS 2,370 $\frac{リットル}{分}$	たいしゃ1
4号車(タンク車)		日産	KK-MK252BH (H11年式)	206PS 3,010 $\frac{リットル}{分}$	たいしゃ4
救助工作車		三菱ふそう	KK-FK61HGX (H12年式)	165PS	たいしゃこうさく
救急1号車(高規格救急車)		日産	CBF-FPWGE50 (H20年式)	240PS (4WD)	たいしゃきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)		日産	GE-FLWGE50 (H13年式)	170PS (4WD)	たいしゃきゅうきゅう2
指令1号車		トヨタ	T-RZH133S (H4年式)	120PS	たいしゃしれい1
指令2号車		日産	GF-LR50 (H13年式)	170PS	たいしゃしれい2
積載車		ダイハツ	LE-S330W (H18年式)	45PS	たいしゃせきさい
広報車		日産	CBE-VY11 (H17年式)	90PS	たいしゃこうほう

【斐川消防署】

車両名	区分	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)		三菱	KC-FG538D (H10年式)	140PS 2,170 $\frac{リットル}{分}$	ひかわ1
3号車(タンク車)		いすゞ	KC-FRR33D4V改 (H10年式)	210PS 3,016 $\frac{リットル}{分}$	ひかわ3
救急1号車(高規格救急車)		トヨタ	TC-VCH32S (H14年式)	180PS	ひかわきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)		トヨタ	CBF-TRH226S (H18年式)	150PS (4WD)	ひかわきゅうきゅう2
救助工作車		三菱ふそう	P-FK416FZ改 II型(S60年式)	175PS	ひかわこうさく
指令車		マツダ	GF-GW8W (H11年式)	120PS	ひかわしれい1

消防水利施設数

区分		市町別・地域別	総計	出雲市						斐川町	
				計	出雲地区	佐田地区	多伎地区	湖陵地区	平田地区		大社地区
計			3,594	2,944	1,302	165	177	170	653	477	650
消 火 栓	φ 200 以上		306	203	149		5	7	19	23	103
	φ 150以上φ 200未満		516	367	198	4	24	12	70	59	149
	φ 100以上φ 150未満		899	723	443	12	18	30	96	124	176
	φ 75以上φ 100未満		632	481	104	52	61	15	119	130	151
	φ 75 未 満		76	62	3	1	16	17	17	8	14
	計		2,429	1,836	897	69	124	81	321	344	593
防 火 槽	公 設	40 m ³ 以上	474	437	182	38	39	74	52	52	37
		20m ³ 以上40m ³ 未満	378	363	6	54	9	8	232	54	15
		20 m ³ 未 満	50	50	1	1	2		30	16	
	計		902	850	189	93	50	82	314	122	52
私 設	40 m ³ 以上	48	48	39				3	6		
	20m ³ 以上40m ³ 未満	115	115	107		1	4	2	1		
	20 m ³ 未 満	51	51	48			2	1			
計		214	214	194		1	6	6	7		
プ ー ル			49	44	22	3	2	1	12	4	5

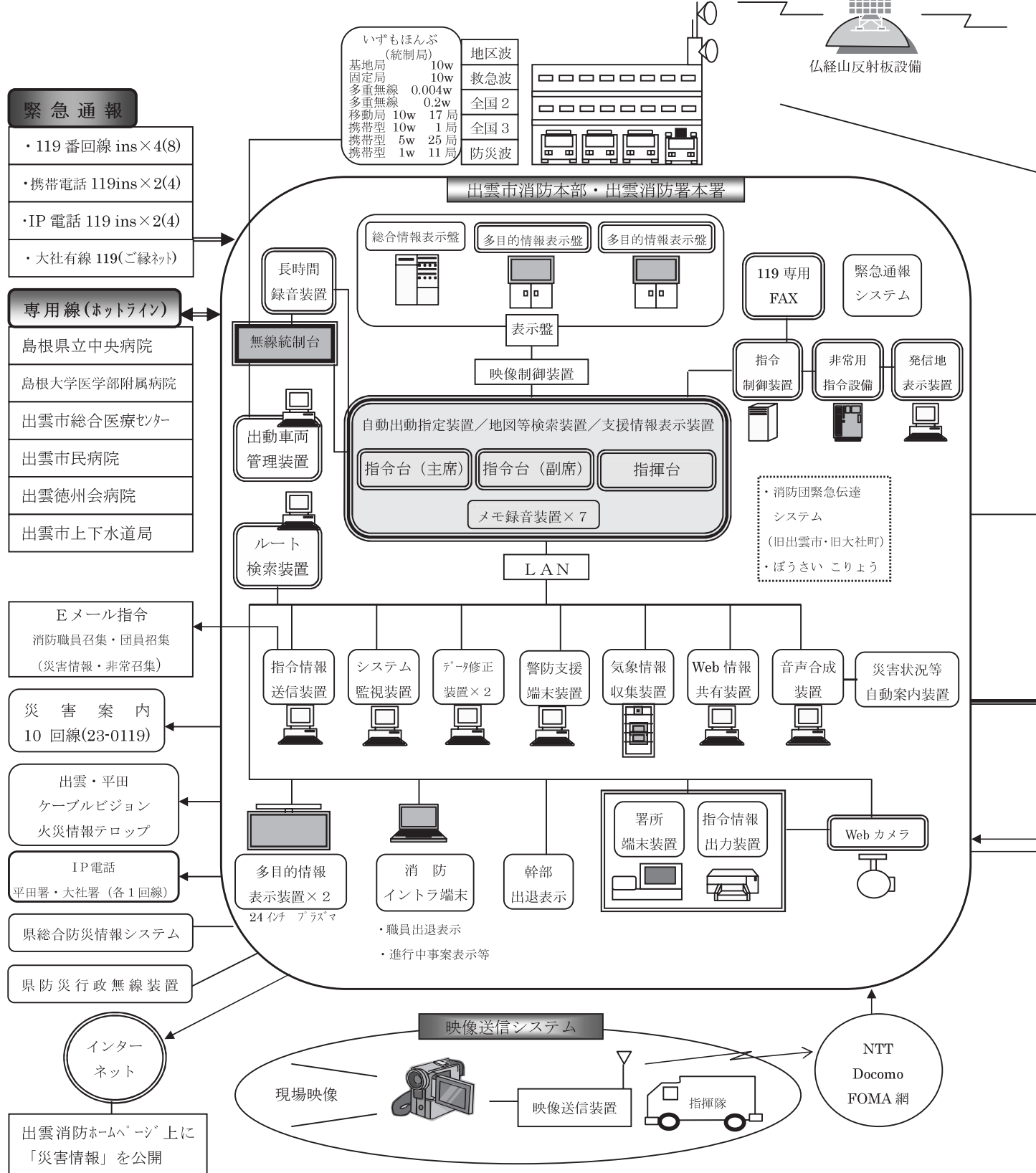
指令編

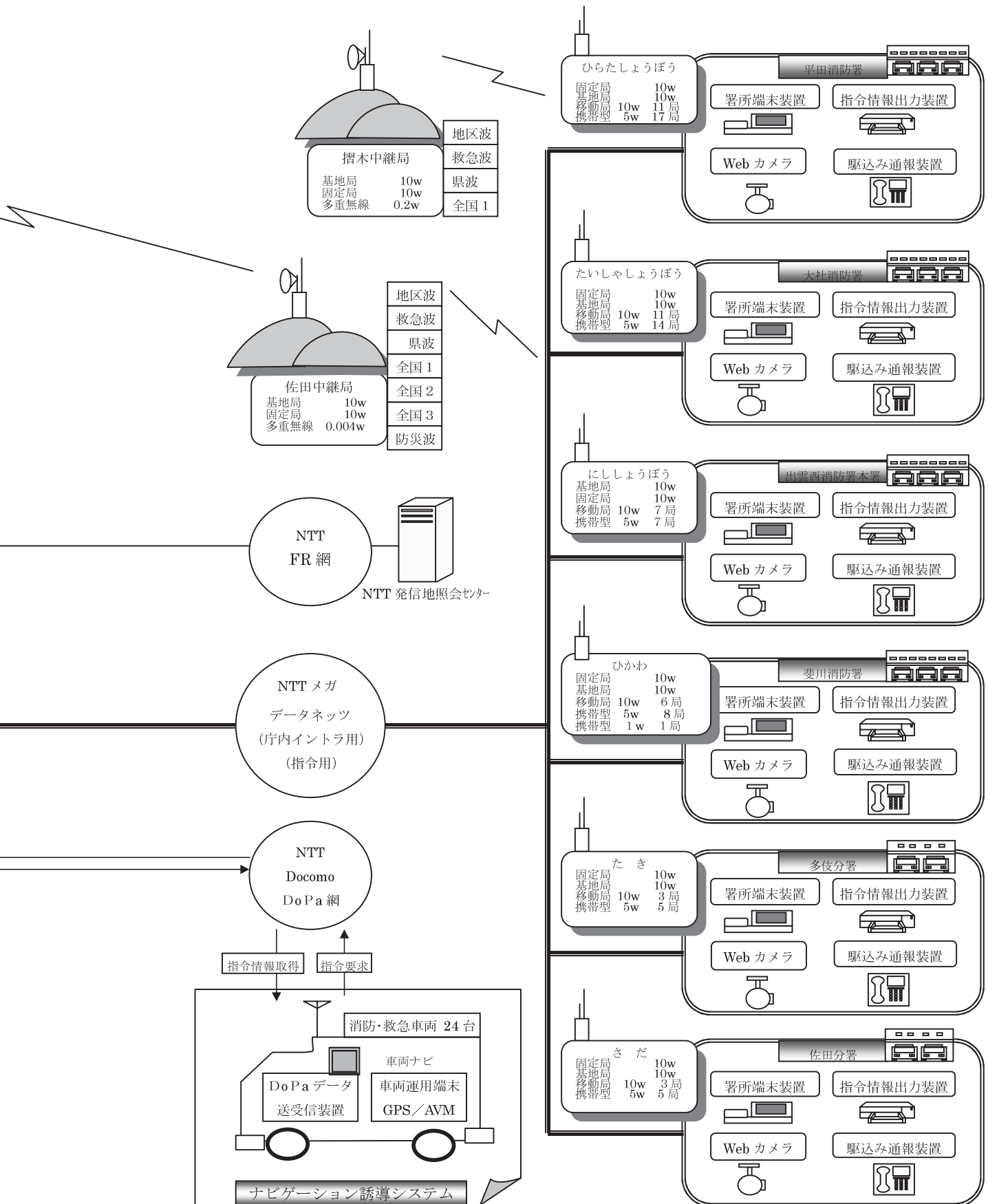


中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練

消防通信

消防通信施設状況





覚知方法・内容別受信状況

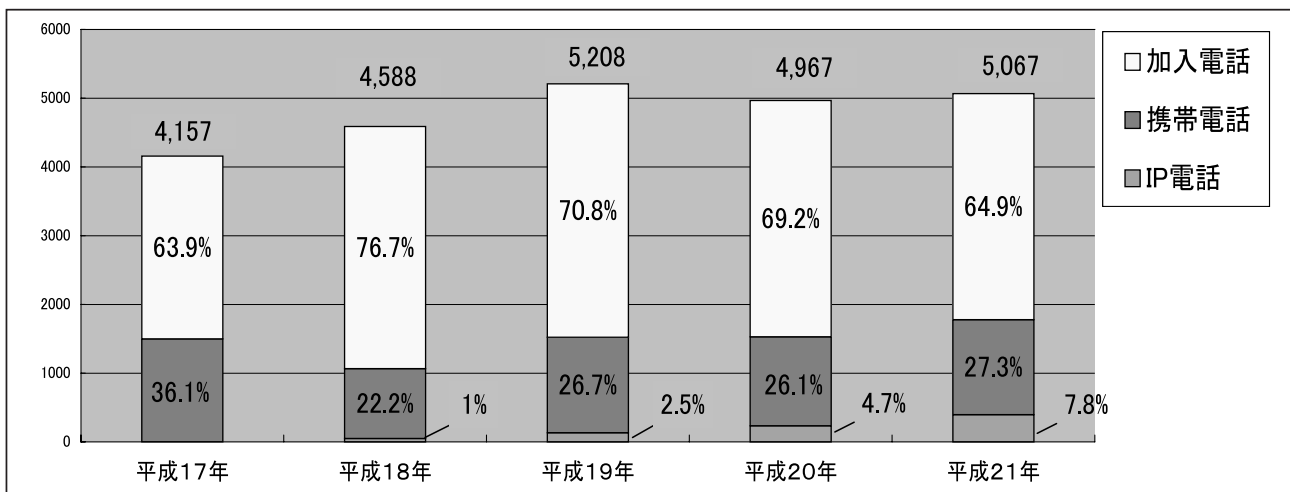
平成21年(2009)中

受信種別		火災通報	救急通報	その他の災害通報	災害通報小計	訓練通報	火災救急問い合わせ	いたずら	医療機関問い合わせ	誤ってかけた	苦情・相談・届出	その他応答無し	途中で切れた	試験	非災害通報小計	合計
受信方法																
火災報知専用電話	加入電話119番	68 (43)	3,165 (3,340)	57 (56)	3,290 (3,439)	741 (805)	42 (81)	76 (67)	31 (46)	298 (330)	147 (125)	76 (82)		367 (320)	1,778 (1,856)	5,068 (5,295)
	IP電話119番	7 (4)	379 (226)	10 (4)	396 (234)	52 (25)	6 (2)		2 (3)	36 (28)	8 (7)	4 (5)		95 (168)	203 (243)	599 (477)
	携帯電話119番	31 (40)	1,267 (1,197)	83 (57)	1,381 (1,294)	25 (56)	40 (35)	15 (18)	30 (39)	175 (150)	61 (49)	34 (63)		18 (23)	398 (433)	1,779 (1,727)
小計		106 (87)	4,811 (4,763)	150 (117)	5,067 (4,967)	818 (886)	88 (118)	91 (90)	63 (88)	509 (508)	216 (181)	114 (150)	0 0	480 (511)	2,379 (2,532)	7,446 (7,499)
緊急有線電話(ご縁ネット)			28 (33)	1	29 (33)	1 (1)	4			6 (3)	3 (6)	8 (8)		1 (3)	23 (24)	52 (57)
福祉緊急システム			22 (20)		22 (20)					115 (89)	8 (22)	10 (20)		95 (284)	228 (415)	250 (435)
専用電話(ホットライン)			27 (22)		27 (22)										0 0	27 (22)
加入電話		2 (13)	173 (197)	84 (59)	259 (269)										0 0	259 (269)
駆け付け			25 (22)	1 (2)	26 (24)										0 0	26 (24)
計		108 (100)	5,086 (5,057)	236 (178)	5,430 (5,335)	819 (887)	92 (118)	91 (92)	63 (89)	630 (600)	227 (209)	132 (178)	0 0	576 (798)	2,630 (2,971)	8,060 (8,306)

() 内は前年中の受信件数

過去5年間における実災害119番受信状況の推移

(加入電話119・携帯119・IP119のみ)



消防テレホンガイド利用状況 (0853-23-0119)

火災や、各種災害の情報を住民の皆様を提供するため、専用電話による消防テレホンガイド装置を運用しており、その利用状況は次のとおりです。

平成21年(2009)中

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
回数	10,826	5,363	5,910	7,533	5,096	8,884	4,632	6,116	10,074	7,009	5,022	5,511	81,976

119番受信時の口頭指導実施状況【出雲市消防本部】

平成21年(2009)中

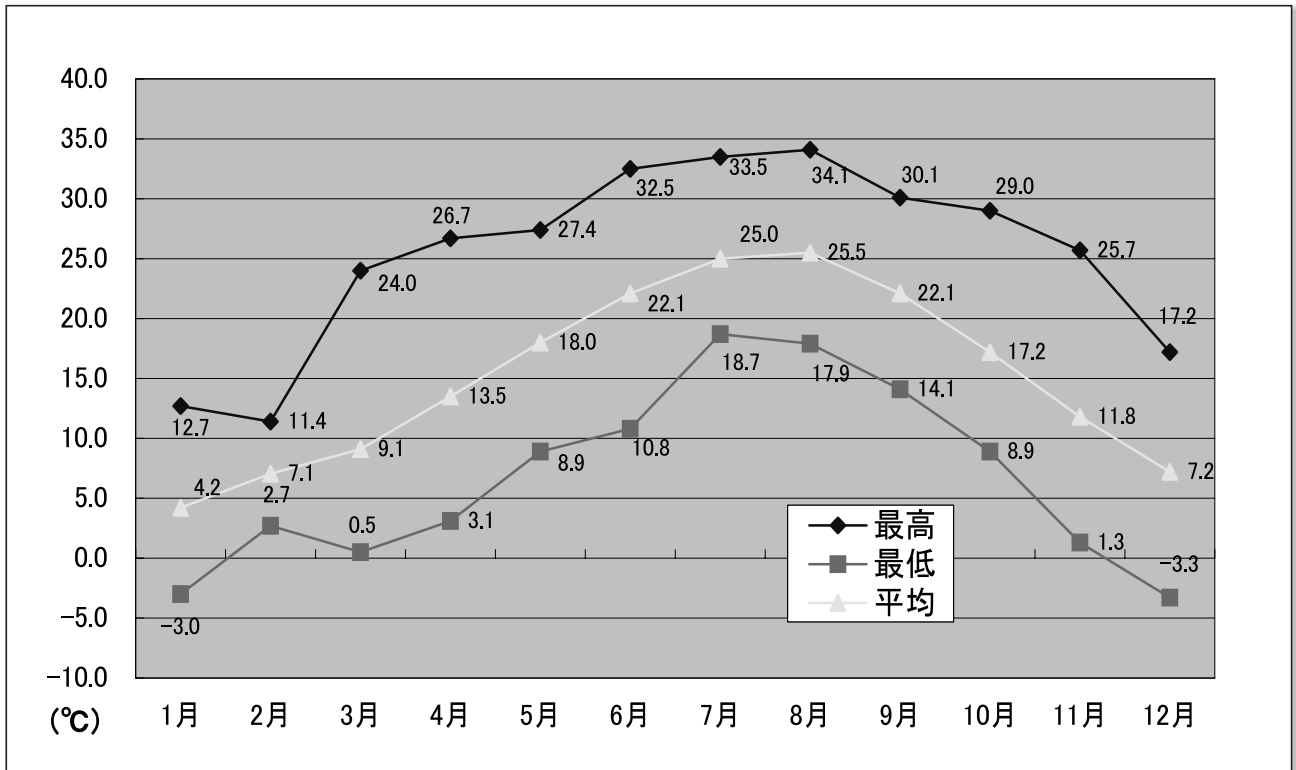
指導内容 事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
止血	112	6	10	75	21
固定	0				
人工呼吸	5	5			
心臓マッサージ	27	23	1	1	2
心肺蘇生	71	59		7	5
気道確保	88	81		7	
保温	5	5			
被覆	1		1		
異物除去	19	7	12		
切断指冷却	1			1	
冷却	5	2		1	2
体位	231	210	1	12	8
その他	14	7		4	3
合計	579	405	25	108	41

気象状況

(出雲市消防本部観測)

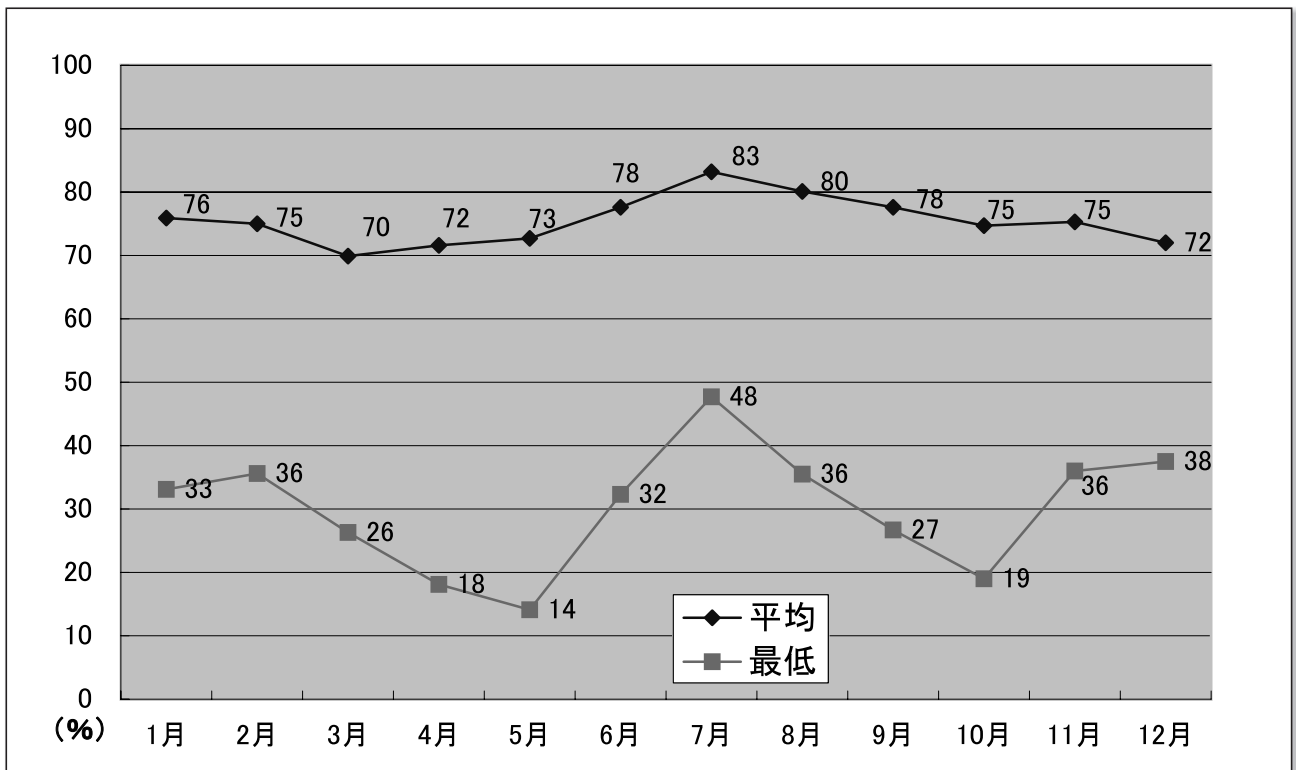
気温 (°C)

平成21年(2009)中



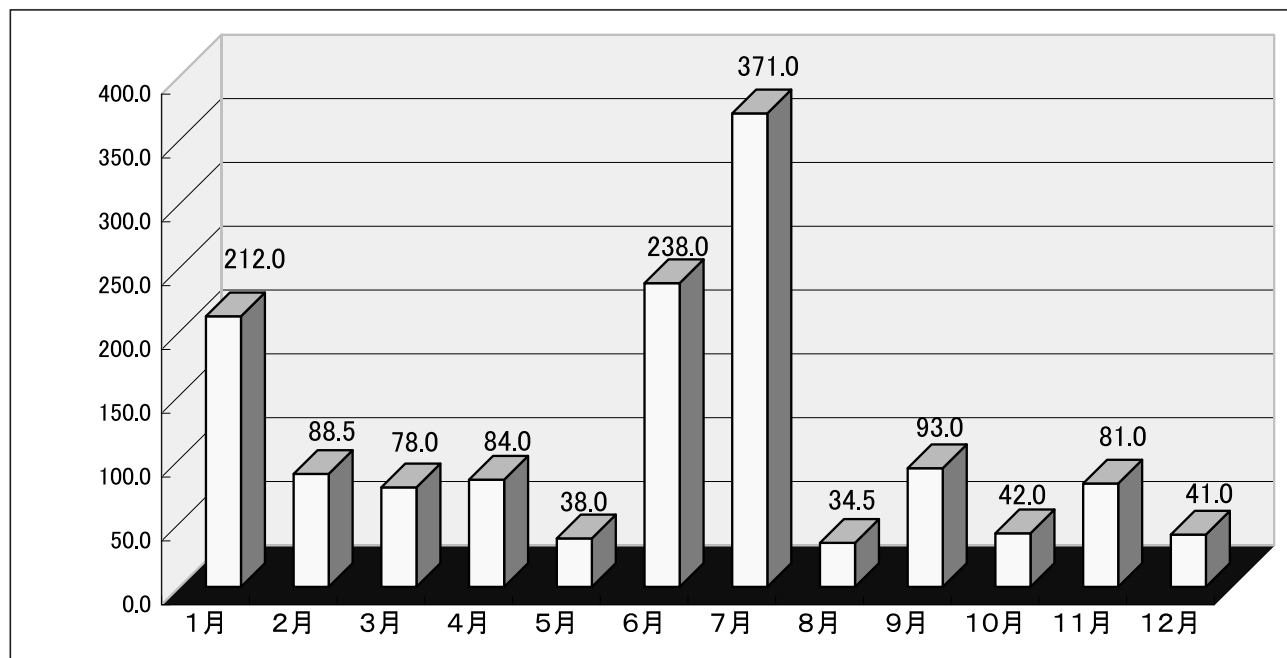
湿度 (%)

平成21年(2009)中



降雨量 (mm)

平成21年(2009)中
総雨量 1,401.0mm



風向・風速

平成21年(2009)中

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
最多風向		東	東	東	西北西	西北西	東	東	東	東	東	東	西北西	東
平均風速		3.6	3.3	3.7	3.5	2.9	3.2	3.3	3.1	2.7	2.6	2.7	4.1	3.2
最大風速		26.8	25.3	32.4	26.9	21.8	19.1	24.8	14.1	18.8	21.9	25.4	26.4	32.4
風速10mを超えた日		20	19	24	25	21	16	24	14	16	16	16	19	230

気象警報等発令状況

平成21年(2009)中

区分	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災気象通報		16	1		3	5	2				2	1	1	1
警報	暴風	1				1								
	波浪	7				1							4	2
	大雨	6						2	4					
	洪水	5						2	3					
計		35	1		3	7	2	4	7		2	1	5	3

※警報等の解除については回数に含まない。

消 防 団



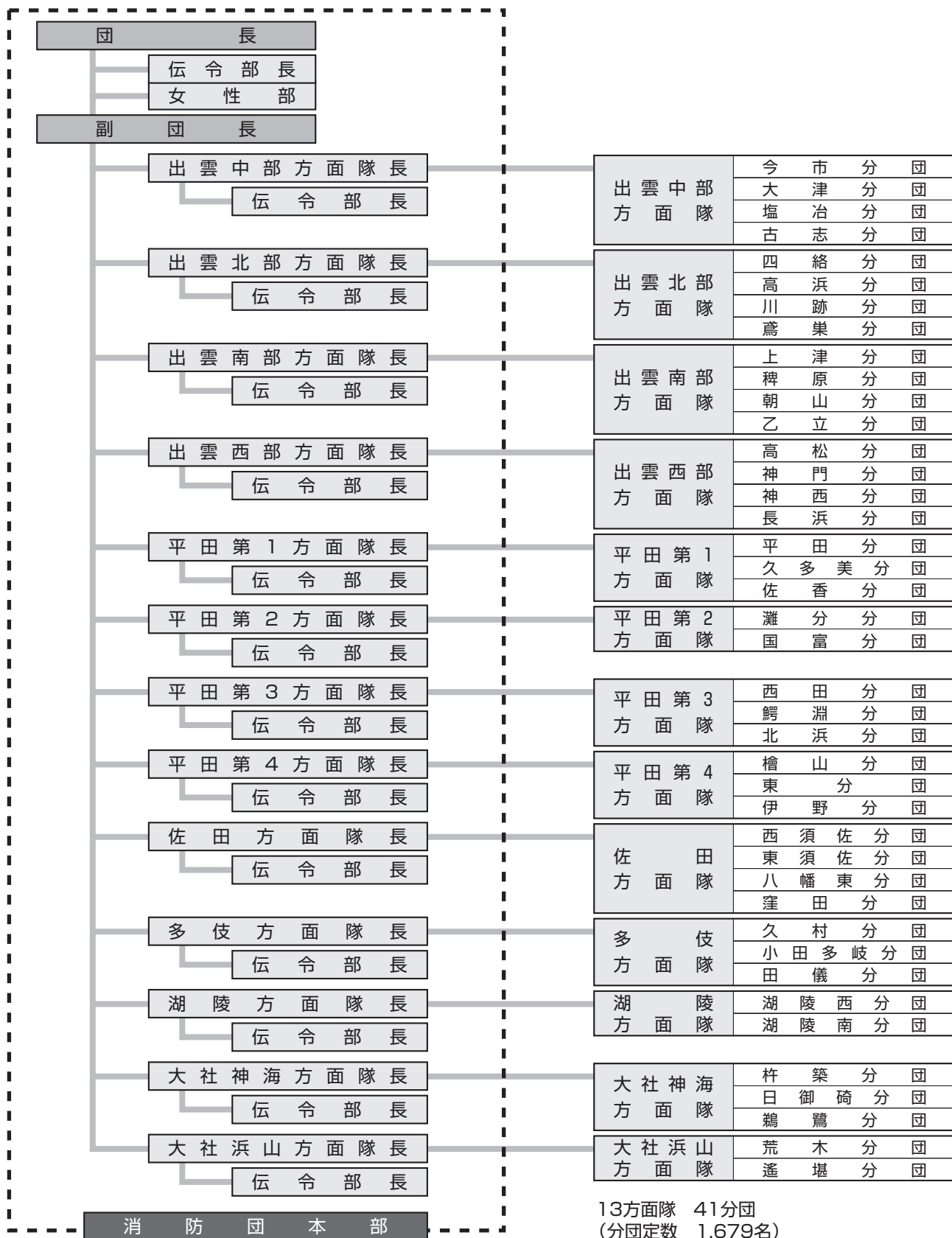
平成22年出雲市消防出初式



第53回島根県消防操法大会

出雲市消防団

組織図



13方面隊 41分団
(分団定数 1,679名)

(団本部定数 59名)

階級別団員数

(単位：人)

階級	団長	副団長 方面隊長含む	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
人数	1	18	41	60	140	179	1,235	1,674

報酬（年額）

(単位：円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額	70,000	50,000	38,000	29,000	25,000	22,000	17,500

諸手当

(単位：円)

区分	出場手当（1回あたり）		機関員手当（年額）		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
単価	3,700	3,700	11,500	11,500	11,500

団員の年齢

(単位：人)

年齢区分	人数
18歳～20歳	4
21歳～25歳	52
26歳～30歳	207
31歳～35歳	467
36歳～40歳	418
41歳～45歳	281
46歳～50歳	142
51歳～55歳	53
56歳～	50
合計	1,674
平均年齢	37.7歳

団員の在職年数

(単位：人)

年数	人数
5年未満	669
5年以上10年未満	470
10年以上15年未満	238
15年以上20年未満	166
20年以上25年未満	75
25年以上30年未満	31
30年以上	25
合計	1,674

消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位：台)

区分	台数
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	18
小型動力ポンプ付積載車	115
その他の車両	2
合計	137

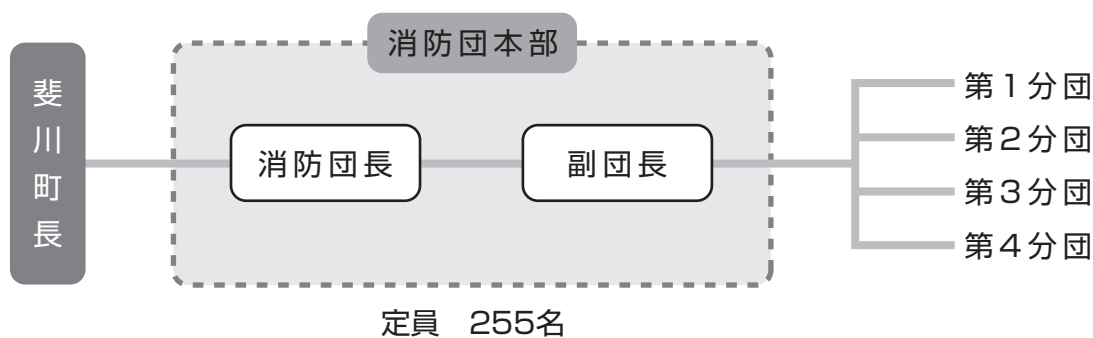
団員の職業別

(単位：人)

職業	人数
農業	44
林業	19
漁業	22
鉱業	9
建設業	382
製造業	374
電気・ガス熱供給・水道業	72
運輸通信業	68
卸売・小売業飲食業	161
保険金融業	23
不動産業	4
サービス業	311
公務	127
その他	58
合計	1,674

消防事務受託先 (斐川町)

斐川町消防団 組織図



階級別団員数

(単位：人)

階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員
人数	254	1	2	4	8	24	24	24	167

報酬 (年額)

(単位：円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員
年額	65,000	50,000	36,000	30,000	25,000	23,000	23,000	21,000

諸手当

(単位：円)

区分	出場手当 (1回当たり)		機関員手当 (年額)		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
単価	3,000	3,000	15,000	15,000	0

団員の年齢

(単位：人)

年 齢	人 数
18歳 ~ 20歳	0
21歳 ~ 25歳	6
26歳 ~ 30歳	39
31歳 ~ 35歳	63
36歳 ~ 40歳	69
41歳 ~ 45歳	50
46歳 ~ 50歳	16
51歳 ~ 55歳	7
56歳以上	4
合 計	254
平均年齢	37.2歳

団員の在職年数

(単位：人)

年 数	人 数
5年未満	176
5年以上10年未満	48
10年以上15年未満	14
15年以上20年未満	8
20年以上25年未満	4
25年以上30年未満	2
30年以上	2
合 計	254

消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位：台)

区 分	台 数
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	22
小型動力ポンプ積載車	22
その他の車両	1
合 計	47

団員の職業別

(単位：人)

区 分	階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	団 員	合 計
農 業			1	1	1	1	2	6	12
漁 業								2	2
鉱 業									0
建 設 業		1		1	2	3	2	32	41
製 造 業					2	5	6	49	62
電気・ガス熱供給・水道業				1				8	9
運 輸 業					1	2	1	5	9
卸売・小売業				1		5	3	9	18
複合サービス業									0
サ ー ビ ス 業			1		1	6	5	54	67
公 務					1	2	3	15	21
そ の 他							2	11	13
合 計		1	2	4	8	24	24	191	254

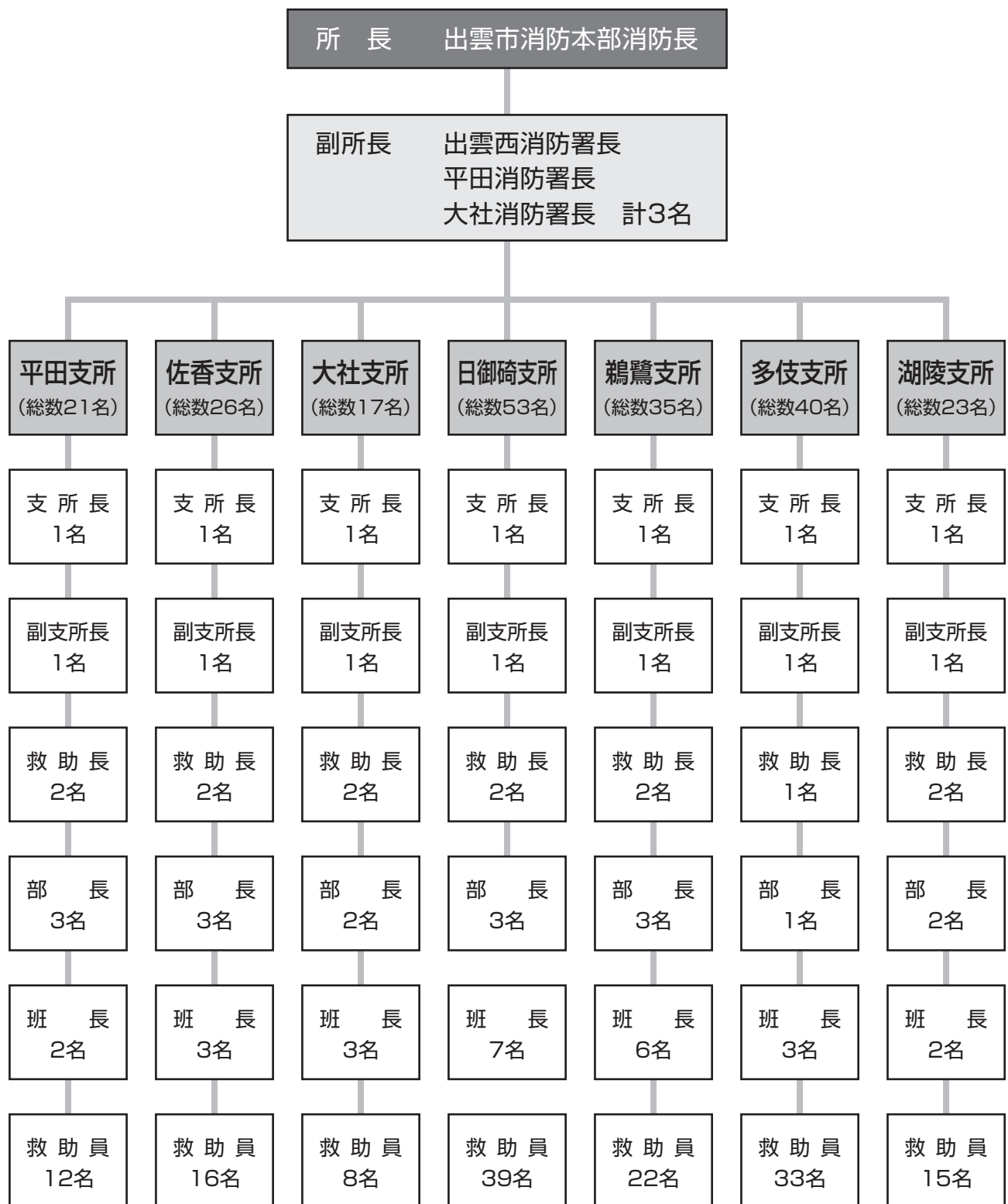
島根県水難救済会 出雲救難所



出雲救難所 多伎支所実地訓練

出雲救難所の 現況

組織図



救難所員の定数及び実員

(単位：人)

階級	区分	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鶉鷲支所	多伎支所	湖陵支所	合計
支所長		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	7
副支所長		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	7
救助長		2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	13
部長		3	3	2	3	3	1	2	17
班長		2	3	3	7	6	3	2	26
救助員		12	16	8	39	22	33	15	145
合計		21	26	17	53	35	40	23	215

※()内は定数

救難所器具保有状況

階級	区分	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鶉鷲支所	多伎支所	湖陵支所	合計
救命索発射銃		3	1	5					9
救命浮環		10	2	23	2	8	10		55
救命胴衣		50		25	73	48	22	8	226
保安帽		15	15	17	53	36	10	15	161
救助用担架				2	1				3
携帯用拡声器		1		5	1	1	1		9
KPロープ(不沈)		1		2	2	2			7
ロープ		2	1	4	5	5			17
洋上救急バック				3					3
ゴムボート(7、8人乗)				2					2
ウエットスーツ		8		7					15
携帯用発電機				4					4
ヘッドランプ		2	1	10			5	1	19
水中ライト		2	1	1					4
強力ライト				1			10		11
ブリチェスバイ				1					1
地引網				1					1
磯足長靴		2	3	6					11
双眼鏡		5	1	4			1		11
オイルフェンス				一式(70m)				一式(70m)	
毛布				1	4	1			6
救助用縛帯				4					4
レサシアン(成人)				3					3
排水ポンプ					1	2			3
トビ					4				4
トランシーバー		8					2		10
旗		3					8	4	15
スローバッグ(25M)							3		3
落水者救助タラップ				1	1	1			3

6ヶ年の災害等出動状況

区分等		年 別	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年
訓 練	件 数	3	2	2	6	6	5	
	出動人員	148	156	145	254	262	261	
水 難 救 助	件 数	3	7	3	3	7	4	
	出動人員	9	62	27	32	127	71	
合 計	件 数	6	9	5	9	13	9	
	出動人員	157	218	172	286	389	332	

救難所員勤続年数

(単位：人)

階 級	支所長	副支所長	救助長	部 長	班 長	救助員	合 計
年 数							
5年未満	2	3	4	7	7	59	82
5 年 ～ 9 年	1		2	3	9	54	69
10年 ～ 14年		1	1	2	3	5	12
15年 ～ 19年	1		1	1	2	7	12
20年 ～ 24年		1	2	3	2	7	15
25年 ～ 29年		1	2	1	2	5	11
30年 ～ 34年	1	1			1	4	7
35年 ～ 39年	1		1			2	4
40年以上	1					2	3
合 計	7	7	13	17	26	145	215

救難所員の年齢

(単位：人)

階 級	支所長	副支所長	救助長	部 長	班 長	救助員	合 計
年 齢							
20歳未満							0
20歳 ～ 24歳						1	1
25歳 ～ 29歳						4	4
30歳 ～ 34歳					1	9	10
35歳 ～ 39歳					4	16	20
40歳 ～ 44歳			1	3	4	7	15
45歳 ～ 49歳	1	1		3	3	10	18
50歳 ～ 54歳			5	1	3	9	18
55歳 ～ 59歳	1	1	5	3	4	21	35
60歳以上	5	5	2	7	7	68	94
合 計	7	7	13	17	26	145	215

名 称	消防年報(平成21年版)
発 行	出雲市消防本部 〒693-0004 出雲市渡橋町253番地1 ☎0853(21)2119(代)
編 集	出雲市消防本部 指令課
発 行	平成22年(2010)8月
印 刷	島根印刷株式会社
